

MEJIRO

UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL

GUIDEBOOK 2027



MESSAGE

[学長メッセージ]

成長する場所
出合い、磨き合い、

大学院には、様々な背景を持つ人々が集います。学部から進学した方、社会で経験を積んでから学び直しを決意した方、海を越えて日本での研究を志した方。歩んできた道は一人ひとり異なりますが、ここで成長しようという思いは同じです。

本学の教育理念は「育てて送り出す」です。本学での学びを選び、入学されたすべての方を、私たちは全力で育て、社会へと送り出します。皆さんがどのような道を歩んできたかではなく、これからどう成長していきたいか。私たちが大切にするのはその意志です。

目白大学大学院は、国際交流・心理学・経営学・生涯福祉・言語文化・看護学・リハビリテーション学の7研究科10専攻を擁し、多様な学問領域で高度な専門性を追求できる環境を整えています。学部で積み上げた基礎、社会人として培った実務経験、皆さんが持ち寄る多様な知見は、研究室で交わり、互いを刺激し合います。異なる世代や文化、経験が出会うこの場所で、自分とは違う他者の存在が、皆さんの思考を鍛え、視野を広げてくれるでしょう。

ここで得た力が、皆さんの未来を、そして社会を照らす光となることを信じています。

目白大学学長

今野 裕之

KONNO, Hiroyuki

PROFILE

1965年生まれ
筑波大学第二学群人間学類心理学主専攻卒業
筑波大学博士課程心理学研究科単位取得満期退学
筑波大学研究協力課文部技官、
目白大学教授、目白大学副学長、
学校法人目白学園評議員、学校法人目白学園理事を歴任
心理学修士／専攻 社会心理学・パーソナリティ心理学

〈著書〉
「リスク・マネジメントの心理学」共編著
「組織健全化のための社会心理学」共著 など

建学の精神「主・師・親」

目白大学の建学の精神は『主・師・親』です。『主』は社会に対する貢献を、『師』は師と共にひたむきに学ぶ姿勢を、そして『親』は家族をはじめ自分を支えてくれる人々への感謝の気持ちを表しています。この建学の精神は、本学学生にとっての教育活動の基本でもあり、理解と実践を求められるものです。同時に、価値観が多様化する今の社会にこそ必要とされているものともいえるでしょう。つまり、建学の精神を実践していくことにより、絶え間なく変化する現代社会を生き抜くための基盤も築くことができるのです。

また、目白大学は「育てて送り出す」を社会的使命としています。“学んだことを将来にどう生かすか”を前提に、それぞれの学部・学科・研究科が独自の教育プログラムにより、個性ある人材育成を行っています。将来のために学ぼうとする学生たちの期待に応え、一人ひとりの力を伸ばしていく。それこそが本学の使命であり、「育てて送り出す」の意味するところなのです。

沿革

- 1923年 研心学園創設
- 1930年 目白商業学校設置
- 1944年 目白女子商業学校に転換
- 1948年 目白学園中学校・高等学校に改組
- 1960年 目白学園幼稚園創設
- 1963年 目白学園女子短期大学創設
- 1994年 目白大学創設
- 1999年 目白大学大学院創設
国際交流研究科修士課程設置
- 2000年 目白学園女子短期大学を
目白大学短期大学部に名称変更
英語英文科と国語国文科を
言語表現学科に改組
- 2002年 大学院 心理学研究科修士課程設置
- 2004年 大学院 経営学研究科修士課程・
心理学研究科博士後期課程設置
- 2007年 大学院 生涯福祉研究科修士課程設置
- 2008年 大学院 言語文化研究科修士課程設置
- 2009年 大学院 看護学研究科修士課程設置
- 2012年 大学院 リハビリテーション学研究科
修士課程設置

目白学園は2023年、創立100周年を迎えました。

(学園全体の沿革は本学公式サイトをご覧ください)

CONTENTS

特色 2

研究科紹介／新宿キャンパス

国際交流研究科
国際交流専攻〔修士課程〕 6

心理学研究科
現代心理学専攻〔修士課程〕 10
臨床心理学専攻〔修士課程〕 14
心理学専攻〔博士後期課程〕 18

経営学研究科
経営学専攻〔修士課程〕 20

生涯福祉研究科
生涯福祉専攻〔修士課程〕 24

言語文化研究科
日本語・日本語教育専攻〔修士課程〕 28
中国・韓国言語文化専攻〔修士課程〕 32

看護学研究科
看護学専攻〔修士課程〕 36

リハビリテーション学研究科
リハビリテーション学専攻〔修士課程〕 40

入試関連情報
学納金／入試結果 44
入試日程 45
オープンキャンパス&進学相談会 46
アクセス 47

※本冊子の掲載内容は、2026年5月1日現在の情報です。

目白大学大学院
公式サイト



<https://www.mejiro.ac.jp/graduate/>

目白大学大学院での学びの 3 つの特色 THREE FEATURES

働きながら学ぶ



ハイブリッド型授業、セメスター制、
昼夜開講制、長期履修制度

充実した環境で研究する



便利な立地、研究を基礎から学ぶ、
専門領域と向き合える研究環境

キャリアアップ・ キャリアチェンジを目指す



資格取得に即したカリキュラム、
社会人向け入試制度、大卒資格不問*

*入学資格審査が必要

目白大学大学院での学びの特色は本学公式サイトでもご紹介しています。



特色

1

働きながら学ぶ

社会人も学びやすい開講形式と 研究を基礎から学べるカリキュラム

▶ ハイブリッド型授業（対面・遠隔授業）を実施

多様な学生の学びを支える開講形式

授業は対面授業と遠隔授業*を併用したハイブリッド型で実施し、社会人の方も仕事などのスケジュールを調整しながら学ぶことができます。ただし、授業内容によってハイブリッド型の科目も対面授業のみとなる場合があります。詳細はオープンキャンパスなどでご確認ください。臨床心理学専攻は、資格取得に伴う科目履修や演習・実習があり、対象外となります。

*原則オンデマンド授業は対応していません。また、通学することが前提となります。



▶ カリキュラム

履修しやすいセメスター制、昼夜開講制

本大学院ではセメスター制を導入し、1年を春学期と秋学期に分け、学期ごとに完結するカリキュラムを展開。月曜日から金曜日までは昼夜（看護学研究科は夜間のみ）の開講で、土曜日は昼間のみ開講です。社会人が学びやすいカリキュラムとなっています。

月曜日～金曜日		土曜日		
第1時限	授業なし	第1時限	9:30～11:00	
第2時限		第2時限	11:10～12:40	
第3時限		13:30～15:00	第3時限	13:30～15:00
第4時限		15:10～16:40	第4時限	15:10～16:40
第5時限		16:50～18:20		
夜間第1時限	18:30～20:00			
夜間第2時限	20:10～21:40			

*平日第1～2時限および土曜日第5時限は大学院の授業はありません。また、看護学研究科は平日第1～5時限の授業はありません。

▶ 研究の基礎を学ぶ

研究の基礎が身につく大学院共通科目

目白大学大学院で初めて研究を行う学生を対象に、研究の基礎的知識を修得するための大学院共通基礎科目「学術研究の技法I・II」を用意*。研究の進め方や調査方法、データ統計など、基礎をしっかり身につけることで、安心して修士論文執筆に着手することができます。

*心理学研究科、看護学研究科は除く。



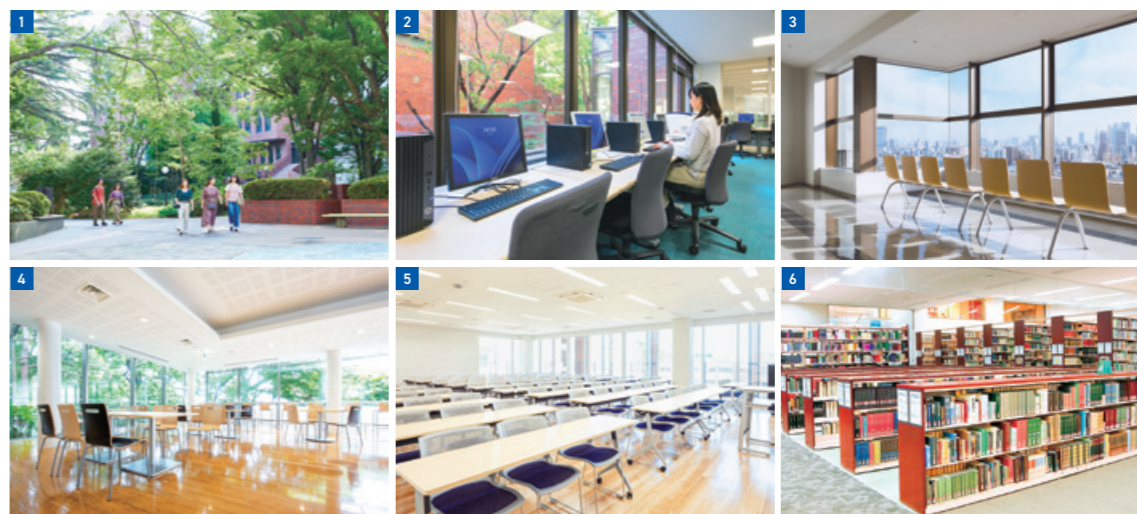
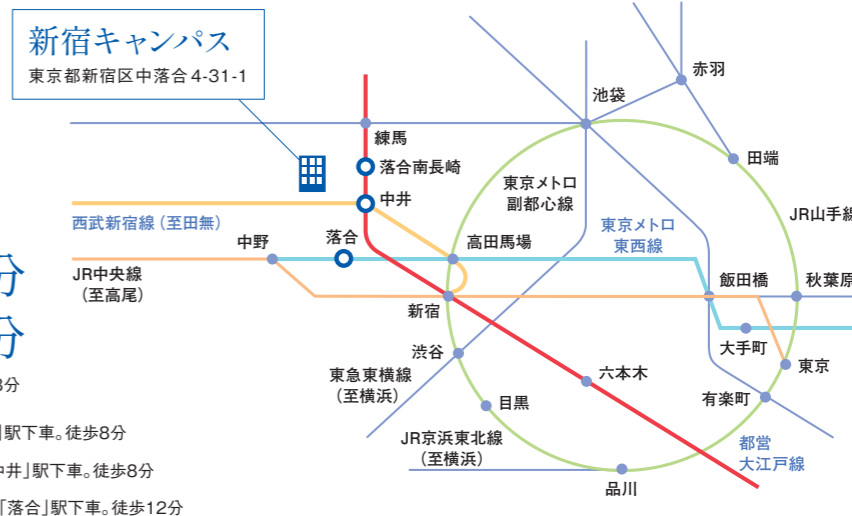
特色

2

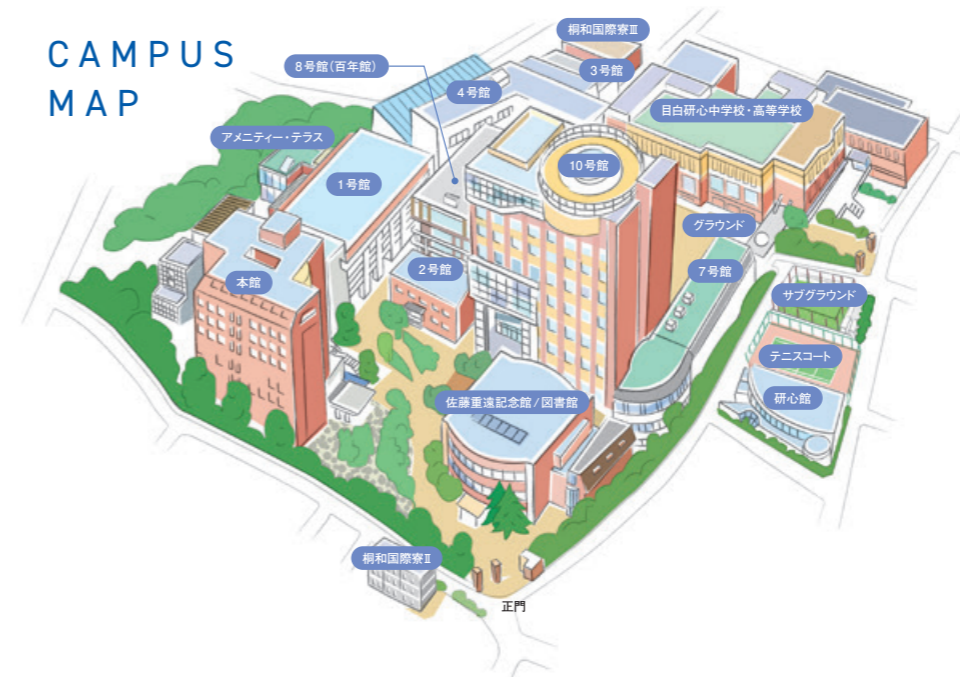
充実した環境で研究する

都心にあるキャンパスと 充実の研究環境

ACCESS



CAMPUS MAP



FACILITY

- 1 キャンパス内／都心でありながら四季折々の景色が味わえる自然豊かなキャンパス
- 2 大学院研究室／PCブースが備えられた共有スペースで課題や論文作成などに取り組むことができます
- 3 展望スペース／10号館9階は新宿エリアが見渡せる絶好のロケーション
- 4 アメニティー・テラス／1～2階の「ポロニア」は明るく開放的で憩いの場として人気
- 5 教室／一人ひとりの学習スペースが確保された教室
- 6 図書館／蔵書数は約30万冊。広々とした閲覧スペースや4階建てのアネックス(別館)があります。各研究科の専門領域に関するデータベースを導入し、館内での資料検索だけでなく、学外からも国内外の論文を検索できます

▶ 各種資格支援

各専攻での資格支援が
キャリアに繋がる

本大学院では、各専攻で資格・免許の取得を支援しています。在学中に最短2年で、資格取得に即した指定単位を修得でき、学内外での実習なども終えることができます。臨床心理学専攻では、公認心理師の資格取得に対応したカリキュラムに基づく科目履修で資格取得を目指すほか、臨床心理士養成第1種指定大学院に指定されているため、実務経験なしで臨床心理士の受験資格が得られます。いずれの資格もキャリアに直結するもので、各専攻での学びや研究成果、学位に加えて資格の取得により、多くの修了生がキャリアアップ、キャリアチェンジを実現しています。

臨床発達心理士

(P10~13参照)

現代心理学専攻にて、受験資格取得が可能です。資格取得後は、発達障害、育児不安、虐待、引きこもりなど、幅広く支援に携わります。

税理士

(P20~23参照)

経営学専攻にて、一定の条件を満たすことで税理士試験科目の免除措置を受けることができます。

公認心理師・臨床心理士

(P14~17参照)

臨床心理学専攻にて、2つの資格取得が目指せます。公認心理師資格に対応したカリキュラムのほか、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の各領域の実習により実践力の習得も重視します。

認定看護管理者

(P36~39参照)

実務経験に加え、看護学専攻での専攻分野・履修科目・修士論文の内容において条件を満たすことで、認定審査の受験が可能です。

教員免許・資格

(P28~35参照)

日本語・日本語教育専攻では中学・高等学校教諭専修免許状(国語)が取得できます。専修免許状取得には、入学時点で中学校または高等学校教諭一種免許状(国語)を取得している必要があります。中国・韓国言語文化専攻韓国言語文化コースでは「外国語としての韓国語教育資格」が取得可能です。

▶ 各種制度

長期履修制度

個々のペースに合わせて、履修期間を延長できる制度です。

- 1 修士課程で最大4年、博士後期課程で最大6年まで学ぶことができます。例えば仕事などの都合で修士2年、博士3年で修了することが困難であると最初から予想できる場合でも、計画的に無理なく学ぶことができます。また在学中に期間を短縮して、通常の履修期間に戻すことも可能です。
- 2 学納金は修士課程2年分、博士後期課程3年分の総額を在籍年数で割った額となるので、長期履修期間中に学納金が余計にかかることはありません。
- 3 本制度を利用できるのは、現在就業している社会人、育児・介護などにあたる必要がある方です。なお留学生は利用できません。
- 4 本制度の利用を希望する方は、出願時に申請してください。

窓口：目白大学入学センター
03-3952-5115 / colkoho@mejiro.ac.jp

詳細はこちら▶



科目等履修生

本学では特定の授業科目の履修を希望する場合、本学の教育、研究に支障のない限り、選考の上、科目等履修生を受け入れています。科目等履修生として修得した単位は、本学の正規の単位として認定されます。大学院・大学・短期大学部で春・秋学期の募集があります。

窓口：教務部 教務課
03-5996-3159 / sikaku@mejiro.ac.jp

教育訓練給付制度

本大学院では、以下の通り「一般教育訓練給付」の対象講座として指定を受けています。

対象講座

研究科	専攻
国際交流研究科	国際交流専攻
心理学研究科	現代心理学専攻 / 臨床心理学専攻
経営学研究科	経営学専攻(特定課題論文コース)
	経営学専攻(修士論文コース)
生涯福祉研究科	生涯福祉専攻
言語文化研究科	日本語・日本語教育専攻
看護学研究科	看護学専攻
リハビリテーション学研究科	リハビリテーション学専攻

給付金を受給するための要件がありますので、制度の利用を希望される方は、最寄りのハローワークにお問い合わせください。

窓口：教務部 教務課(教育訓練給付制度のみ)
03-5996-3122

詳細はこちら▶



▶ 入試

社会人のための入試制度

社会人経験を持つ方を対象とする入試を実施しています。

社会人特別入試・AO入試を実施

修士課程では、社会人特別入試やAO入試を実施している専攻もあり、社会人経験を生かした小論文試験やプレゼンテーション審査などによる判定を行います。

※社会人特別入試に出願できる「社会人」の定義は専攻により異なります。詳しくは入学試験要項(本学公式サイトにて6月下旬公開予定)をご確認ください。

大学卒業資格がなくても受験が可能

4年制大学の卒業資格を持たない場合でも、社会人経験などに基づいて入学資格審査を実施し、受験を認めることがあります。

窓口：目白大学入学センター
03-3952-5115 / colkoho@mejiro.ac.jp

詳細はこちら▶



▶ 修学支援

奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)をはじめ、多くの公的団体や民間企業が大学院生を対象とする奨学金制度・研究助成金制度を設けています。以下、奨学金の一部です。

日本学生支援機構奨学金 ※2026年度募集の内容

区別	種別	返済利息の有無	貸与月額
修士課程	第一種	なし	50,000円または88,000円
	第二種	あり	50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円から希望する月額を選択
博士後期課程	第一種	なし	80,000円または122,000円
	第二種	あり	50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円から希望する月額を選択

奨学金返還免除制度

JASSOの第一種奨学金の貸与を受けた学生で、在学中に特に優れた業績を挙げた者と認定された場合、貸与期間終了時に貸与額の全額もしくは半額の返還が免除されます。

授業料後払い制度

大学院修士段階の授業料について、在学中の授業料を国が立て替え、返還は修了後の所得に応じた「後払い」とする制度です。修了後、所得に応じた額を、月々JASSOを通じて国に返還(納付)する必要があります。本制度を利用した場合も、別途授業料の納付が必要となる場合があります。

窓口：学生部
03-5996-3123 / colgakusei@mejiro.ac.jp

MESSAGE

教員・先輩の声

目白大学大学院の7研究科では、それぞれの教員が専門分野を追求し、現代社会の問題と向き合っています。教員の専門分野や研究内容について紹介しています。また、多様な思いを持った大学院生がそれぞれに成果を得て、専門知識・技術を生かしたキャリアを築いています。修了生の研究を志すに至った背景や目標などを紹介しています。

本学公式サイト「教員・先輩の声」はこちら



COURSE MODEL

履修モデル

履修計画を立てる上での一例として「履修モデル」を紹介しています。本学の人材養成の目的、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの可視化と、授業科目の教育課程上の位置づけを理解していただくためのものであり、将来の進路や目標に適した学びの道筋です。

本学公式サイト「履修モデル」はこちら



International Studies

Master's Program in International Studies

国際交流研究科

国際交流専攻(修士課程)

学位 修士(国際学)

幅広い科目履修で多様な研究テーマや知識に繋がる

本専攻では、「国際・地域社会コース」、「地域文化・交流コース」の2つの科目群を設置。各自の研究テーマや興味・関心に沿って、2つの科目群から自由に科目を選択して履修することが可能です。1年次の春学期終了時に修士論文指導担当教員を決定し、秋学期以降は演習科目を中心に研究テーマを具体化します。2年次から指導教員の下で専門領域に関する研究を深めます。

POINT 研究テーマに合わせて自由に選べる2つのコースを設置



国際・地域社会コース

社会科学的分野に焦点を当てて学ぶ

政治・経済・地域社会など、社会科学的分野に焦点を当てた科目を設置しています。

- 国際関係
- 公共政策
- 国際経済
- グローバル・ビジネス
- 国際協力



地域文化・交流コース

人文科学的分野に焦点を当てて学ぶ

歴史・思想・文化比較など、人文科学的分野に焦点を当てた科目を設置しています。

- 比較文化
- 日本史
- 都市文化
- 文化ボランティア
- 民俗学

2コースを
横断的に学び
深い知見へ

主な研究キーワード

- 地球環境問題
- アジア研究
- イスラム研究
- アメリカ研究
- まちおこし

▶ 国際的諸課題へ学際的にアプローチする人材を養成

本専攻は、国際的・人類的な諸課題を学際的・複眼的な視点から分析・解明し、その解決のため実践的・主体的に活動できる国際人・教養人を育成することを目指しています。グローバル化時代の中で、世界の諸地域は人・モノ・インターネットなど国際間の交流を通じてその地域特性を形成・発展させています。このような時代の国際交流研究は、確かな地域研究の視点を持つことと併せて、国際社会における共存・交流の基礎をインターカルチュラルな視点から理解していく必要があります。ある地域を、その地域のみ閉鎖的に見るのではなく、他の地域との関連や世界全体の視座から相互連関的に探究することによって、社会研究の人文的基礎と国際交流の実践的能力を養成します。

ADMISSION POLICY | 求める学生像

- 1 人文・社会科学の特定領域に関する基礎的知識を有するとともに、学際的・複眼的な視点からさらに専門的に研究したいと思っている人。
- 2 国際社会、地域社会、現代社会の諸問題に関心を持ち、それらを解明し解決したいと思っている人。
- 3 国際社会の一員として自覚的に行動し、国際交流の実践者として社会に貢献したいと思っている人。

COLUMN

論文指導

論文指導担当教員の下、それぞれの研究テーマを深化させ、修士論文を作成します。



飛田 満 教授

社会問題あるいは国際問題としての環境問題を中心に、学生たちは自由にテーマを設定。指導を受けながら研究発表と意見交換を重ね、修士論文の完成を目指します。



長崎 秀俊 教授

グローバル・ビジネスに関わる現象や生活者の行動を、マーケティングやブランド戦略、そして消費者行動研究の視点から分析・解釈していきます。そして、ビジネス成功のための仮説を設定し、定量・定性調査を通して検証していきます。



高久 聡司 教授

現代社会で生じている社会課題に対して設定したテーマを基に「より善い社会」のあり方を析出することを目標に据え、資料収集・解釈・整理の基礎となる論理的思考力を養うとともに、問題意識に適した方法に基づく調査を行い、論文を執筆していきます。

臨地研究

フィールドワークによる調査や社会人の現場経験を生かす学外実習科目「臨地研究」を通じて、実践的な問題解決能力と学問的知識の高度専門化を図りながら、修士論文の作成へと繋がります。

修士論文テーマ例

修士論文は1年次から指導教員による一貫した指導を行い、きめ細かい指導体制を組んでいます。

- 海外進出した日系企業の自然災害リスク
- 日本における韓流文化の受容と変化
- 子育て後の女性の地域への関わり方に関する課題と可能性
- 中国人の海外旅行者における消費動向の比較研究 ー日本とシンガポールを中心としてー
- 情報化社会におけるデジタル博物館の役割と効果に関する研究 ー日中比較を中心にー
- ガンダム作品からみる戦後日本人の死生観と戦争観の変化
- 日本とベトナムにおけるモンテッソーリ教育のブランド認知と理解
- 中日の若者のライフスタイルと価値観の変容

在学生&修了生について

本専攻は、学部新卒者から社会人まで多様な学生が学べるように、カリキュラムを設定しています。社会人学生の勤務先および修了生の就職先は以下の通りです。

【社会人学生の勤務先】

日野自動車/デルタ航空/武州甲冑製造/順天堂大学医学部附属病院/北野建設

【修了生の就職先】

シーアンドゼットコミュニケーション(国際業務)/江戸川区職員(区教育委員会事務局・文化財管理)/日本ビジネスサポート(コンサルタント)/TOHOシネマズ(営業職)/国際化学工学(教諭)/三井住友海上火災保険(国際業務)/現代自動車(日本技術研究所付通訳・翻訳)/五十鈴(鉄鋼業事務職)/朝日生命保険(総合職)/西東京市職員(司書)/日本空港ビルデング(関西国際空港)/千代田ゴム(営業職)/西友(営業職)/桜美林学園(事務職)/ソフトバンク(営業職)/ジェイ・エス・エス(サービス職)/ローソンストア100(営業職)/東京デザイナー学院(事務職)/パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス(営業職)/エデン(IT関連)/名校教育グループ(事務職)/トランスコスモス(IT関連)/セブン-イレブン・ジャパン(営業職)

本学公式サイト

「専攻ページ」はこちら▶



授業科目

▶ カリキュラム (修了要件:30単位以上)

科目名	単位数		配当年次	備考
	必修	選択		
国際交流研究基礎論	2		1	
国際関係研究		2	1・2	
現代政治研究		2	1・2	
国際経済研究		2	1・2	
国際協力研究		2	1・2	
公共政策研究		2	1・2	
比較政治研究		2	1・2	
地球環境問題研究		2	1・2	
グローバル・ビジネス研究		2	1・2	
労働社会学研究		2	1・2	
アジア研究		2	1・2	
アメリカ研究		2	1・2	
ヨーロッパ研究		2	1・2	
イスラム研究		2	1・2	
日本史研究1 (古代・中世・近世)		2	1・2	他研究科の開放科目を含め22単位以上選択 ただし、開放科目は8単位を上限とする
日本史研究2 (近代・現代)		2	1・2	
日本思想史研究		2	1・2	
日本民俗学研究		2	1・2	
地域資料研究		2	1・2	
比較文化研究		2	1・2	
比較宗教研究		2	1・2	
社会学研究		2	1・2	
考古学研究		2	1・2	
博物館学研究		2	1・2	
文化ボランティア研究		2	1・2	
まちおこし研究		2	1・2	
観光・交通研究		2	1・2	
都市社会研究		2	1・2	
都市文化研究		2	1・2	
臨地研究1 (短期)		2	1・2	
臨地研究2 (長期)		4	1・2	
国際交流研究演習	2		1	
修士論文指導演習1	2		2	
修士論文指導演習2	2		2	

▶ 履修スケジュール例 (国際・地域社会コース1年次の場合)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	9:30 ~ 11:00					1
2	11:10 ~ 12:40					2
3	13:30 ~ 15:00					3
4	15:10 ~ 16:40					4
5	16:50 ~ 18:20					
夜1	18:30 ~ 20:00					
夜2	20:10 ~ 21:40					

平日第1～2時限は国際交流専攻の授業はありません。

●…春学期 ●…秋学期

教員紹介

マークの説明

歴 主な経歴 **研** 現在の主たる研究領域・テーマ

修 学位論文の指導ができる教員

修士論文の指導については、学生の研究内容により指導担当以外の教員も論文指導を行います。詳細はオープンキャンパスなどお問い合わせください。

飛田 満

TOBITA, Mitsuru

教授・研究科長 博士(文学)

歴 筑波大学大学院博士課程哲学・思想研究科修了、ミュンヘン大学留学(DAAD)、目白大学社会学部地域社会学科長を経て、現・社会学部部長

研 社会哲学・環境倫理学・エコロジー思想。地球環境問題の倫理的・社会的な研究、持続可能な開発目標(SDGs)に関する理論的・実践的研究、および社会哲学的な視点における西洋近代・現代思想の研究。

廣重 剛史

HIROSHIGE, Takeshi

教授・専攻主任 博士(学術)

歴 慶應義塾大学商学部商学科卒、早稲田大学大学院社会科学部研究科修士課程修了、同博士後期課程単位取得退学。高崎経済大学助手、早稲田大学社会科学総合学術院助教等を経て現職

研 社会哲学、社会デザイン、経済社会学。コミュニティ再生に関する理論的な研究とともに、東日本大震災後は筑仙沼市での地域活性化と植林活動に携わっている。

石井 貫太郎

ISHII, Kantaro

教授 博士(法学)

歴 慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻後期博士課程修了。東洋英和女学院大学専任講師・助教、目白大学助教等を経て現職

研 政治理論および国際政治理論のパラダイム間論争とそれを生み出す政治社会および国際社会における現象変化との因果関係に関する考察を行うとともに、リーダーシップの政治的な理論の構築を目指した研究を行っている。

高久 聡司

TAKAKU, Satoshi

教授 博士(学術)

歴 中央大学文学部卒業、東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程修了、東京工業大学大学院社会理工学研究科価値システム専攻修士後期課程単位取得退学

研 NPO論、都市社会学、教育社会学。特に都市空間と子どもへのまなざしをめぐる行政と市民の論争の歴史社会学的研究、および若年層の就職に関する実証的研究。

長崎 秀俊

NAGASAKI, Hidetoshi

教授 修士(経営学)

歴 法政大学大学院社会科学部研究科博士後期課程修了。大手事業会社や英国コンサルティング会社勤務を経て現職

研 専門分野はマーケティングやブランド論。特に近年は、グローバル・ビジネスにおけるマーケティング戦略やブランド戦略、そしてソーシャルマーケティングやパッケージを介したブランド・アイデンティティの分野に強い関心を持ち、研究を進めている。

山口 晋

YAMAGUCHI, Susumu

教授 博士(文学)

歴 関西学院大学文学部卒業、大阪市立大学大学院文学研究科前期博士課程修了、同後期博士課程単位取得退学。信州大学経済学部助教を経て現職

研 人文地理学、とりわけ都市の文化社会地理学を専門としている。

赤木 妙子

AKAGI, Taeko

教授 博士(史学)

歴 慶應義塾大学文学部史学科卒業、慶應義塾大学大学院文学研究科史学専攻修士課程修了、同博士課程修了

研 日本近代史——とりわけ幕末期以降の日本人の海外移住について、歴史的に研究している。南北米大陸に移住した日本人の(日常)を史料から復元する作業を通じて、(社会集団)の形成過程や(歴史認識)の生成過程について考えている。

大西 律子

OHNISHI, Ritsuko

教授 博士(工学)

歴 東京工業大学大学院情報理工学研究科情報環境学専攻修士課程修了。民間の研究機関・コンサルティングで地域計画・事業等、公共政策の調査・立案業務に従事

研 市民参加型まちづくりの可能性を社会的アプローチに向けた探りながら、まちづくりの協働・共同化に向けたシステムの検討・構築に取り組んでいる。

鈴木 章生

SUZUKI, Shousei

教授 博士(文学)

歴 立正大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程修了。江戸東京博物館学芸員等を経て現職。品川区立品川歴史館館長

研 祭礼、社寺参詣、名所巡りなど、都市の祝祭空間における文化的事象と人々の行動心性に関する研究に、歴史学・民俗学の立場から取り組んでいる。さらに、博物館の展示と地域社会における市民ボランティアの役割と運営に関する研究を行っている。

早川 雅子

HAYAKAWA, Masako

教授 文学博士

歴 筑波大学大学院哲学・思想研究科修了。目白大学人文学部教授等を経て現職

研 研究テーマ「19世紀前中期の江戸・東京における家族の実態と道徳思想」について、①人別帳のデータから家族の実態を分析し、家意識や家族観を読み取る。②この時期の民衆道徳の内容や意味を、都市住民・家族の現実という文脈から解釈する。

堀内 直哉

HORIUCHI, Naoya

教授 政治学修士

歴 明治大学大学院政治経済学研究科政治学専攻修士後期課程単位取得満期退学、ハンプルク大学(歴史学科)留学

研 近現代ドイツ外交史を主な研究テーマとしている。とりわけ、1871年のドイツ帝国設立以降におけるビスマルクの対外政策と、1933年に政権を掌握したヒトラーの対外政策を中心に研究を進めている。

野呂 純一

NORO, Junichi

専任講師 博士(経済学)

歴 学習院大学経済学部卒業、学習院大学大学院経済学研究科博士前期課程修了、同博士後期課程単位取得退学。東京女子館大学国際教養学部専任講師等を経て現職

研 応用ミクロ経済学をベースに、国際ボランティア、観光経済学に関する研究を行っている。


ハイブリッド型授業の実施

対面授業と遠隔授業^{*}を併用したハイブリッド型で実施しています。社会人の方も仕事などのスケジュールを調整しながら学ぶことができます。

^{*}原則オンデマンド授業は対応していません。また、通学することが前提となります。詳細はオープンキャンパスなどご確認ください。


シラバス

担当教員、授業方法・内容(スケジュール)、評価の方法などの詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト
「シラバス」はこちら▶ 

教員紹介 検索ページ

著書・論文歴、所属学会、学会発表など教員についての詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト
「教員紹介 検索ページ」はこちら▶ 



Psychology
Master's Program in Contemporary Psychology

心理学研究科

現代心理学専攻 (修士課程)

学位 修士 (心理学)

基礎から対人援助まで現代人の心理を探る

本専攻のカリキュラムは「現代心理学方法論」「現代心理学特論」「心理援助学特論」の3つの専攻科目群で構成されており、アカデミック心理学と対人援助心理学をバランス良く研究できるようになっています。修士論文の作成については、指導教員による1年次からの一貫した指導を行います。構想発表・中間発表・最終試験のプロセスを踏んだ論文審査を実施することにより、きめ細かい指導体制を組んでいます。

POINT

3つの専攻科目群でバランス良く専門性を高める

目的 1 現代社会の心理学的諸問題に精通した研究者を目指したい

目的 2 企業や行政、教育現場、地域社会など、現代社会のニーズに即した個人・組織・コミュニティに対する心理援助の専門家を目指したい

目的 3 既に心理援助の職に就いているが、実務での課題を研究することで、より高度な専門性を身につけたい

心理学研究の基礎を修得

現代心理学方法論 科目群

心理学の研究法や統計法などの基礎的な研究スキル科目に加えて、学会発表に必要なプレゼンテーション能力を修得する科目を学びます。

主な研究キーワード

- 心理学研究法
- 心理統計
- 調査研究
- プレゼンテーションスキル

現代人の心理を探る

現代心理学特論 科目群

認知心理学、発達心理学、社会心理学、スポーツ心理学など、現代人の心理を探るための多彩な心理学の理論を学び、心理学研究や心理援助に繋がります。

主な研究キーワード

- 社会的自己
- コミュニケーション
- 親子関係
- 法と心理学
- 多様性と文化

心理的援助スキルを高める

心理援助学特論 科目群

メンタルヘルス、産業カウンセリング、キャリアカウンセリング、犯罪被害者支援など、現代社会のさまざまな現場における心理援助やヒューマンサービスに従事するための高度な専門性を修得します。

主な研究キーワード

- キャリアコンサルティング
- カウンセリング
- 心理学的介入
- 発達障害

▶ 社会と人の関わりにおける心理学的諸問題を探究

社会と人との関わりに重点を置いた心理学的諸問題を対象に教育研究を行うのが特徴です。

現代社会のさまざまな現場で生じている問題や現象に対して、認知心理学・発達心理学・社会心理学・産業組織心理学・犯罪心理学・臨床心理学など、幅広い心理学の専門的知識と方法論を駆使して分析を行います。

さらに、心理学の研究とそれに基づく実践活動によって、問題の解決をリードし社会に貢献できる人材を育成します。具体的には、現代社会に精通した研究者、研究マインドを持った高度専門職、コンサルタントやカウンセラーといった援助・支援の専門家の育成を目指しています。

ADMISSION POLICY | 求める学生像

- 〈心理学研究科全体〉 専攻に関わる心理学的方法論を用いて、研究を実践し高度な専門職業人として社会の発展および個人の健康増進に寄与したいと願っている人。
- 〈現代心理学専攻〉
 - すでに学部レベルの心理学については、幅広く、一定のレベルでの学習を終えていること。
 - さらに科学的心理学を幅広く、かつ専門領域にも特化してより深く学ぶことにより、心理学の専門家(研究者あるいは高度実務家)として社会に貢献したいという意欲を持っている人。

COLUMN

実習・資格について

本専攻では、以下の実習と資格取得をサポートしています。

■ 実習

2種類の実習(選択必修科目)を行うことにより、修士論文作成やカウンセリング・スキルに繋がります。

調査研究・データ解析実習(現代心理学方法論 科目群)

調査研究の全プロセスとSPSS統計ソフトを用いたデータ解析をグループ実習として行います。研究の方法論として生かせる知識・能力を修得します。

心理援助学実習I・II(心理援助学特論 科目群)

既に心理援助やヒューマンサービスの現場に従事している方に対し、スーパーバージョンやコンサルテーションによる指導を行います。

■ 臨床発達心理士受験資格

臨床発達心理士は、本専攻の指定科目のほか、臨床心理学専攻および生涯福祉研究科生涯福祉専攻の指定科目を合わせて10科目履修し、本専攻を修了すること、一定の実習体験を経ることにより受験資格が得られます。なお、実習先は各自で確保する必要があり、本専攻から実習先の紹介は行っておりません。これらの条件を満たした上で、一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構の資格試験に合格することで資格取得できます。

在学生&修了生について

本専攻は、学部新卒者から社会人まで多様な学生が学べるように、カリキュラムを設定しています。社会人学生の職業および修了生の就職先は以下の通りです。

[社会人学生の職業・キャリアのご紹介]

看護師、保健師、薬剤師、歯科医師、社会保険労務士、キャリアコンサルタント、臨床心理士、産業カウンセラー、看護学校教員、短期大学教員、公立中学校校長、高等学校教員、大学事務職員、都庁管理職、福祉職員、発達障害支援施設指導員、乳児院指導員、企業の人事担当、経営コンサルタント、人事・人材セミナー講師など

[修了生の就職先・進学先]

[就職] 目白大学(講師) / 種智院大学(講師) / 共立女子短期大学(講師) / 法務省(法務教官) / 警視庁(行政職員I類技術・心理) / 千葉県職員(心理職) / 新宿区職員(児童相談員) / 練馬区職員(心理職) / 神奈川県警察(少年育成課) / 日本電気(健康管理センター) / 東品川児童センター(児童問題専門相談員) / LITALICO / アドバンテッジリスクマネジメント
[進学] 目白大学大学院心理学研究科博士後期課程 / 筑波大学大学院博士後期課程心理学研究科(現:人間総合学術院心理学位プログラム博士後期課程) / 昭和女子大学大学院生活機構研究科博士後期課程 / 立正大学大学院心理学研究科博士後期課程

修士論文テーマ例

修士論文の主なテーマ例は以下の通りです。また一部の修士論文については、要旨を専攻サイトに公開しています。

- 他者からの評価の恐れがコスト・予測バイアスを介して社交不安に及ぼす影響の検討
— ポジティブな社会的出来事の否認を踏まえて —
- 中国人大学生の就業動機に及ぼす関連要因
— 労働価値観と両親の養育態度に着目して —
- ポジティブ感情がメッセージ受容に及ぼす影響の検討
- 看護師の離職意図の生起メカニズム
— 仕事の要求度—資源モデルの健康障害プロセスに注目して —
- 少年犯罪の原因帰属に及ぼす影響要因
— 少年殺人者イメージとインターネットとの関わり方に着目して —
- セルフ・コンパッションと情緒的依存欲求が援助要請意識と意図に及ぼす影響の検討—母子関係に着目して—
- セルフコンパッション・バウンダリー・アサーションがワーク・エンゲージメントに及ぼす影響の検討

本学公式サイト

「専攻ページ」はこちら▶



授業科目

(年度によって変更する場合があります)

【カリキュラムと時間割の特徴】

- 現代心理学専攻では、学部新卒者から社会人までさまざまなタイプの学生の諸条件とニーズに応じた履修計画を立てることができます。
- 平日午後10単位、夜間に20単位、土曜日に6単位、そのほか集中講義などに6単位が配置されています(心理援助学実習I・II／各1単位、現代心理学特別研究／4単位は除く)。必修科目はこのうち4科目10単位のみで、1年次春学期の週3日程度の夜間を中心とした履修になります。修了に必要な他の20単位以上は自由に選択できます。

▶カリキュラム (修了要件:30単位以上)

科目名	単位数		配当年次	備考
	必修	選択		
現代心理学方法論				
心理学研究・統計法演習 (▲)	2		1	
心理学研究法特論		2	1・2	必修を含め6単位以上選択必修
調査研究・データ解析実習 (▲)		2	1	
アカデミック・スキルズ (▲)		2	1・2	
現代心理学特論				
心理学の歴史と理論 (▲)	2		1	
認知心理学特論(*)		2	1・2	
精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)		2	1・2	
発達心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開) (*)		2	1・2	
言語発達特論 (*)		2	1・2	
非言語行動心理学特論		2	1・2	必修を含め6単位以上選択必修
社会心理学特論		2	1・2	
メディア・コミュニケーション特論		2	1・2	
法と心理学特論 (*)		2	1・2	
家族心理学特論 (*)		2	1・2	
産業組織心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)		2	1・2	
スポーツ心理学特論		2	1・2	
心理援助学特論				
カウンセリング再入門 (▲)	2		1	
メンタルヘルステ論		2	1・2	
産業カウンセリング特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)		2	1・2	
キャリアコンサルティング特論		2	1・2	
多文化心理援助学特論		2	1・2	必修を含め6単位以上選択必修
犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)		2	1・2	
健康心理学特論 (*)		2	1・2	
言語発達の評価と支援 (*)		2	1・2	
心理援助学実習I (▲)		1	1・2	
心理援助学実習II (▲)		1	1・2	
研究指導				
現代心理学特別研究(▲)	4		2	

(*)：臨床発達心理士受験資格取得のための指定科目。そのほか臨床心理学専攻、生涯福祉研究科生涯福祉専攻の指定科目の履修が必要。
注) 臨床心理学専攻の希望者は▲印のある科目を除く全科目を履修できる。なお、他研究科からは資格取得に関する場合に限って履修を認めることがある。

ハイブリッド型授業の実施

対面授業と遠隔授業[※]を併用したハイブリッド型で実施しています。社会人の方も仕事などのスケジュールを調整しながら学ぶことができます。

※原則オンデマンド授業は対応していません。また、通学することが前提となります。詳細はオープンキャンパスなどでご確認ください。

▶履修スケジュール例 (夜間・土曜講義受講を前提に履修する場合の1年次)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	平日第1～2時限は現代心理学専攻の授業はありません。					9:30 ～ 11:00 言語発達特論
2						11:10 ～ 12:40 言語発達特論
3						13:30 ～ 15:00
4						15:10 ～ 16:40
5						16:50 ～ 18:20 発達心理学特論
夜1	18:30 ～ 20:00		心理学研究・統計法演習	調査研究・データ解析実習	アカデミック・スキルズ	産業組織心理学特論
夜2	20:10 ～ 21:40	心理学の歴史と理論 カウンセリング再入門	心理学研究・統計法演習	調査研究・データ解析実習	アカデミック・スキルズ	

…春学期 …秋学期
◆上記のほか、秋学期集中講義で心理学研究法特論を履修。

▶履修スケジュール例 (資格取得などを旨として学業に専念する場合の1年次)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	平日第1～2時限は現代心理学専攻の授業はありません。					9:30 ～ 11:00 言語発達特論
2						11:10 ～ 12:40 言語発達特論
3						13:30 ～ 15:00 メンタルヘルステ論
4						15:10 ～ 16:40 メンタルヘルステ論
5						16:50 ～ 18:20 社会心理学特論
夜1	18:30 ～ 20:00	発達障害臨床心理特論	心理学研究・統計法演習	調査研究・データ解析実習	アカデミック・スキルズ	
夜2	20:10 ～ 21:40	心理学の歴史と理論 カウンセリング再入門	心理学研究・統計法演習	調査研究・データ解析実習	アカデミック・スキルズ	

…春学期 …秋学期
◆上記のほか、秋学期集中講義で言語発達の評価と支援、心理学研究法特論を履修。

シラバス

担当教員、授業方法・内容(スケジュール)、評価の方法などの詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「シラバス」はこちら▶



教員紹介

マークの説明

歴 主な経歴 研 現在の主たる研究領域・テーマ 修 博 各学位論文の主指導ができる教員
心 臨床発達心理士の有資格者 公認心理師の有資格者
修士論文の指導については、学生の研究内容により主指導担当以外の教員も論文指導を行います。詳細はオープンキャンパスなどでお問い合わせください。

庄司 正実

SHOJI, Masami

教授・研究科長 医学博士

歴 筑波大学医学専門学群卒業、筑波大学大学院博士課程医学研究科修了。現・白自大学心理学部心理カウンセリング学科教授

研 1)少年の薬物乱用：入所非行児を対象として乱用の実態を疫学調査している。 2)産業精神保健：うつ病、職場ストレス、ソーシャルサポートなど。

倉盛 美穂子

KURAMORI, Mihoko

教授 博士(心理学)

歴 広島大学大学院教育学研究科博士課程後期課程修了。福山市立大学教育学部教授、日本女子体育大学体育学部教授を経て現職

研 専門は、発達心理学と教育心理学。主な研究テーマは、1)子どもの社会性に関する研究：「リスクを伴う遊びが子どもの発達に及ぼす影響」、2)大人の子どもの支援に関する研究：「学習や遊びにおける自己決定の効果」など。

沼田 真美

NUMATA, Mami

専任講師 博士(心理学)

歴 白自大学大学院修士課程心理学研究科修了、筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科修了。関西国際大学心理学部専任講師等を経て現職

研 専門は、社会心理学、ポジティブ心理学等。主な研究テーマは、傷つきからの回復を促したゆるしの概念や対人関係の維持および適応に関わる心理的要因等に関して、実証的研究を行っている。

河野 理恵

KAWANO, Rie

教授・専攻主任 博士(心理学)

歴 筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了。筑波大学心理学系技官・助手を経て現職

研 専門は老年心理学と認知心理学。主な研究テーマは、1)高齢者のライフスタイルに応じた支援の構築、2)高齢者のジェネラリティなど。

奈良 雅之

NARA, Masayuki

教授 文学修士

歴 日本大学文学部卒業、日本大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程満期退学、早稲田医療専門学校卒業(鍼灸師)。北里大学講師等を経て現職

研 健康心理学、東洋医学等、1)ボディワーク・呼吸法・運動行動実施時の感情変化に関する研究、2)事象関連電位などによる選択反応行動の神経心理学的研究等。

今野 裕之

KONNO, Hiroyuki

教授・学長 心理学修士

歴 筑波大学博士課程心理学研究科単位取得満期退学。筑波大学心理学系技官・助手を経て現職

研 ①対人関係の社会心理学 ②臨床社会心理学、特に自尊感情、自己制御と精神的健康の関連 ③組織のリスク・マネジメントについての心理学的研究

川端 美樹

KAWABATA, Miki

教授 社会学修士

歴 慶應義塾大学文学部卒業、同大学大学院社会学研究科社会学専攻後期博士課程単位取得満期退学。福島女子短期大学助教授等を経て現職

研 社会心理学、メディア・コミュニケーション論の視点から、現代社会でメディアが人々の社会的現実認識や心理・行動に与える影響についての、実証的研究を行っている。

財津 亘

ZAITSU, Wataru

准教授 博士(文学)

歴 立命館大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程前期課程修了。富山県警察本部刑事部科学捜査研究所主任研究官を経て現職

研 犯罪者プロファイリング、ポリグラフ検査、目撃証言など、犯罪心理学、捜査心理学を専門とする。

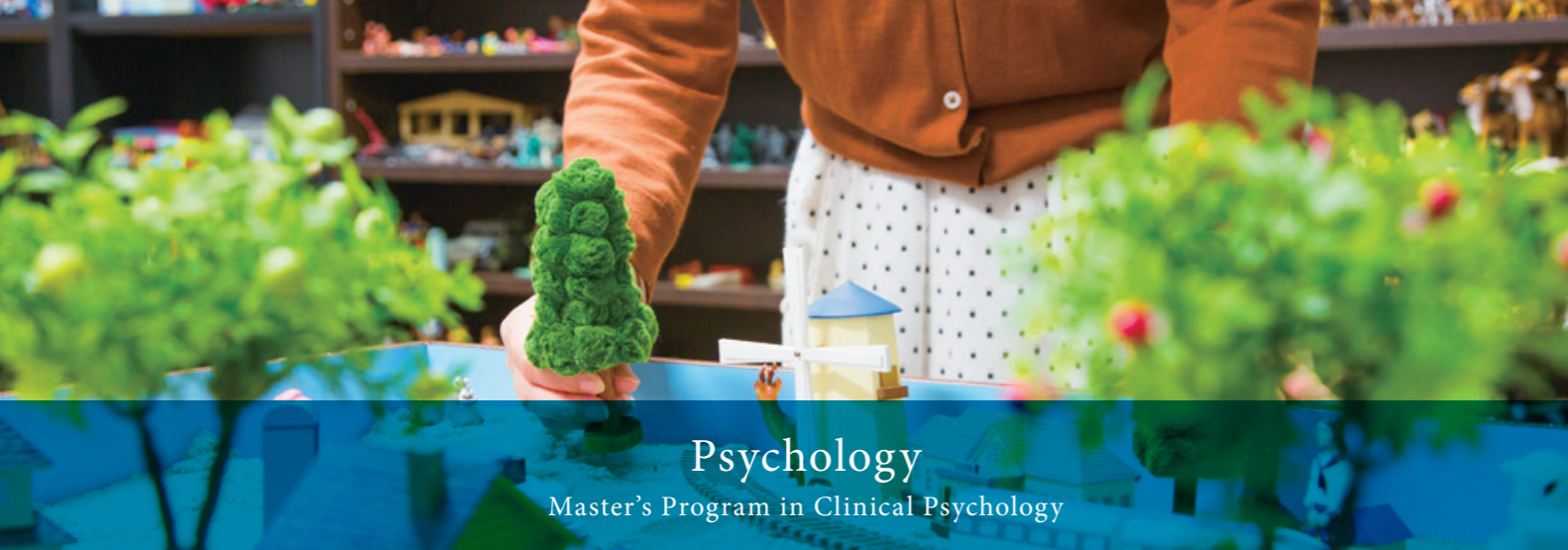
教員紹介 検索ページ

著書・論文歴、所属学会、学会発表など教員についての詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「教員紹介 検索ページ」はこちら▶





Psychology Master's Program in Clinical Psychology

心理学研究科 臨床心理学専攻(修士課程)

学位 修士(心理学)

学内外での実習により実践的な教育研究を志向

本専攻は教育研究の目標として、①心理臨床・カウンセリングの実践と研究を志向する人材の養成、②既に資格を取得し現場で働いている心理臨床の専門家に対する最新の知識・技能習得および研究の支援、③公認心理師および臨床心理士などの資格を取得できる人材の養成を掲げています。資格取得に際し、心理臨床の現場への理解を深めるとともに、臨床に役立つ感覚を身につけるため、幅広い領域における学内外施設での実習を重視しています。

公認心理師および臨床心理士の資格取得

受験資格取得に必要な科目の履修や実習を行うことにより、公認心理師と臨床心理士の2つの資格取得が可能です。資格取得に対応したカリキュラムを設置するほか、実習による心理臨床の技術習得を目指します。実習は、一般向けに開設されている学内の心理カウンセリングセンターや公認心理師法に定められた主要5領域の学外施設で行います。また、本学は公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会による臨床心理士養成に関する第1種指定大学院です。必要な科目を履修することで、本課程修了後に実務経験なしで臨床心理士試験の受験ができます。



目白大学心理カウンセリングセンター

修了後の進路

本専攻の修了生は、以下のような進路において活躍しています。

【修了生の就職先・進学先】

【就職】<医療>国立精神・神経医療研究センター/国立国際医療センター-国府台病院/上尾の森診療所/神奈川県立こども医療センター/筑波記念病院 <教育>目黒区教育委員会/足立区教育委員会/杉並区教育委員会/清瀬市教育相談室/調布市教育相談所/さいたま市立大宮国際中等教育学校/代々木高等学校 <福祉>世田谷区発達障害相談・療育センター/川口市子ども発達相談センター/千葉市福祉協議会/東京育成園/児童養護施設白山愛児園/調布学園 <産業>成田公共職業安定所(公務員)

【進学】目白大学大学院心理学研究科博士後期課程

修士論文テーマ例

修士論文の主なテーマ例は以下の通りです。また一部の修士論文については、要旨を専攻サイトにて公開しています。

- 自己概念の明確性と社会的比較が社交不安症状に及ぼす影響
- 小児期のマルトリートメント体験が否定的な認知を媒介し成人期の抑うつ症状に与える影響
—認知的フュージョンを媒介変数として—
- 大学生の共感性と集団におけるいじめ場面での第三者行動の関連
—心理的安全性に注目して—
- オンライン脱抑制によるSNSにおける攻撃性の増大効果に対する居場所感の影響
- 地域サロンで受ける欲求支援行動が参加継続意欲に及ぼす影響

▶ 実践力と研究能力を備えた心理臨床家を養成する

本専攻は、従来の心理学研究が重きを置いてきた基礎的・理論的研究のみに偏るのではなく、より実践的な、心の健康の維持に役立つ教育研究を行うのが特徴です。臨床心理学を中心に、発達心理学、人格心理学、社会心理学、精神医学、認知心理学、生理心理学などを学問的基盤としながら、心理臨床の実践にダイレクトに繋がるアセスメントや、心理療法・カウンセリング技術の指導に力を入れています。公認心理師の資格取得に対応したカリキュラムを編成し、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会による臨床心理士養成のための第1種指定大学院にも指定されています。修了後は資格を取得して、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の各分野での活躍が期待されます。

ADMISSION POLICY | 求める学生像

- 〈心理学研究科全体〉 専攻に関わる心理学的方法論を用いて、研究を実践し高度な専門職業人として社会の発展および個人の健康増進に寄与したいと願っている人。
- 〈臨床心理学専攻〉 1 公認心理師・臨床心理士等のこころの専門家としての資格取得を目指すに際し、心理臨床・カウンセリングに関する幅広い分野に関心を持ち、個人に対する援助とともに地域社会への貢献を視野に臨床心理学を学ぼうとする人。
- 2 また、すでに心理学関連領域で働いているが、さらなる知識・技術習得の機会を持ちたいとの意欲のある人。

公認心理師および臨床心理士としての実践力を育成

公認心理師の資格取得のために必要な「臨床心理実習」において、各領域の学内外の施設で実習を行います。実習を通じて公認心理師および臨床心理士として求められる一定水準の知識と技能を修得することを重視しています。

■ 学内外での実習

本専攻では、学内の心理カウンセリングセンターでの実習、各領域の施設における学外実習を行っています。

【学内実習】

本学付属の相談機関である心理カウンセリングセンターにおいて、相談員の面接の陪席をするほか、教員の指導の下で実際の面接を担当します。それぞれの事例について、ケースカンファレンスや個別スーパービジョンを通して各教員から専門的な指導を受け、心理面接などについて深く学びます。

【学外実習】

臨床現場を体験する中で、心理職に求められる業務を知ることを目指しています。保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働のうち、各自の興味関心に応じた複数領域での実習を行うことで、心理臨床の現場への理解を深めるとともに、心理職として求められる臨床感覚を身につけていきます。

■ 公認心理師資格取得

2025年3月に第8回公認心理師試験が行われました。本大学院では、2024年度修了生のうち受験した8名中7名が合格し、合格率は87.5%でした。これは全国平均合格率(66.9%)を大幅に上回る結果でした。

実習施設一覧 ※年度によって変更の可能性があります

分野	施設名
保健医療	あおきメンタルクリニック/かたやまクリニック/ 埼玉メディカルセンター/埼玉医科大学総合医療センター/ 聖マリアンナ医科大学病院/まちどりクリニック
福祉	中野区児童相談所/唐池学園/島田療育センター/二葉乳児院
教育	新宿区教育委員会/さいたま市教育委員会/ 練馬区教育委員会学校教育支援センター
司法・犯罪	被害者支援都民センター
産業・労働	土浦診療健康センター

平日昼間の授業について

公認心理師・臨床心理士の受験資格取得に必要な実習科目(必修の「臨床心理実習科目」)については、1週間の内3日以上、平日の日の時間を確保いただく必要があります。また、講義・演習科目については平日昼間から夜間にかけて開講され、実践と講義を交えながら学んでいきます。

■ 臨床心理士資格取得

臨床心理士資格試験は例年10月に1次試験(筆記試験)が、11月に2次試験(口述面接試験)が行われます。本大学院の2024年度修了生のうち受験した10名中9名が合格し、合格率は90.0%でした。これは全国平均合格率(66.7%)を大幅に上回る結果でした。

本学公式サイト
「専攻ページ」はこちら▶



授業科目

(年度によって変更する場合があります)

▶ カリキュラム (修了要件:40単位以上)

科目名	公認心理師	臨床心理士	開放科目	単位数		配当年次	
				必修	選択		
臨床心理学基礎科目	臨床心理学特論A	★		2		1	
	臨床心理学特論B	★		2		2	
	臨床心理面接特論A (心理支援に関する理論と実践)	◆7	★		2	1	
	臨床心理面接特論B	★		2		1	
	臨床心理査定演習A (心理的アセスメントに関する理論と実践)	◆6	★		2	1	
臨床心理査定演習B	★			2	1		
臨床心理学専門科目	臨床心理学研究法特論	★A			2	1	
	臨床心理学統計法特論	★A			2	1	
	人格心理学特論	★B	○		2	1・2	
	司法矯正・犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	◆4	★C	○	2	1・2	
	家族カウンセリング特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	◆8	★C	○	2	1・2	
	臨床心理法規・倫理特論	★C	○		2	1・2	
	医療心理学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	◆1	★D	○	2	1・2	
	発達障害臨床心理特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)	◆2	★D	○	2	1・2	
	学校臨床心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	◆3		○	2	1・2	
	心理教育特論 (心の健康教育に関する理論と実践)	◆9		○	2	1・2	
	認知行動療法特論	★E			2	1・2	
	臨床心理コミュニティ援助特論	★E			2	1・2	
	臨床心理実習科目	臨床心理基礎実習A	★		2		1
		臨床心理基礎実習B(心理実践実習1)	◆10			2	1
		臨床心理実習I(心理実践実習2)	◆10	★		3	2
臨床心理実習II(SV)			★		1	2	
臨床心理実習III(心理実践実習3)		◆10	★		6	1・2	
研究指導				4	2		

注1) 開放科目とは、臨床心理学専攻のカリキュラムとして開講し、現代心理学専攻の希望者が履修可能な科目。
 注2) ◆は、公認心理師法第7条第1号および第2号に規定する「心理学その他の公認心理師となるために必要な科目(以下、必要な科目)」である。
 なお、現代心理学専攻の「精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)◆1」、「発達心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)◆2」、「犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)◆4」、「産業カウンセリング特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)◆5」、「産業組織心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)◆5」も「必要な科目」として認められる。
 注3) ★は、臨床心理士受験資格取得のための指定科目。A～Eはその領域の区分を示す。
 なお、現代心理学専攻の「心理学研究法特論★A」、「発達心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)★B」、「社会心理学特論★C」、「家族心理学特論★C」、「犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)★C」、「精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)★D」、「言語発達特論★D」も指定科目として認められる。

▶ 履修スケジュール例 (1年次の場合)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	9:30 ~ 11:00					1
2	11:10 ~ 12:40					2
3	13:30 ~ 15:00	臨床心理査定演習A 医療心理学特論	臨床心理面接特論A 司法矯正・犯罪心理学特論		臨床心理査定演習B 認知行動療法特論	3
4	15:10 ~ 16:40	産業カウンセリング特論	学校臨床心理学特論	臨床心理学研究法特論	臨床心理学特論A	4
5	16:50 ~ 18:20			臨床心理面接特論B 家族カウンセリング特論	発達障害臨床心理特論	
夜1	18:30 ~ 20:00		臨床心理基礎実習A 人格心理学特論	臨床心理面接特論B		
夜2	20:10 ~ 21:40		臨床心理基礎実習A 臨床心理基礎実習A			

(集中講義(秋学期))
 臨床心理学統計法特論
 ◆…春学期 ◆…秋学期
 ●2時間連続でセミクォーター(学期を前・後半に分けて、それぞれ連続して実施する授業)
 ※希望者は、現代心理学専攻の科目(一部を除く)の履修が可能です。

[公認心理師試験の受験資格について]

公認心理師試験の受験を考えている方は、以下の点に十分にご注意ください。

- 公認心理師試験の受験資格を得るためには、公認心理師法に定められた「公認心理師となるために必要な科目」を、大学において履修していることが必要になります。
- 目白大学以外の大学を卒業し(卒業見込みを含む)、本大学院を受験される場合には、科目の履修要件について出身校の担当部署に十分に確認してください。必要な科目を履修していない場合、公認心理師試験の受験資格は得られません。

シラバス

担当教員、授業方法・内容(スケジュール)、評価の方法などの詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「シラバス」はこちら▶



教員紹介

マークの説明

歴 主な経歴 研 現在の主たる研究領域・テーマ 修 博 各学位論文の主指導ができる教員
 公認心理師の有資格者 臨床心理士の有資格者
 修士論文の指導については、学生の研究内容により主指導担当以外の教員も論文指導を行います。
 詳細はオープンキャンパスなどでお問い合わせください。

杉本 希映

SUGIMOTO, Kie

教授・専攻主任
 心理カウンセリングセンター長
 博士(教育学)

歴 筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科修了。湘北短期大学生活プロデュース学科専任講師を経て現職
 研 児童期から青年期の教育臨床を専門とし、研究と実践を行ってきた。子どもの「居場所」・いじめ・虐待など近年の子どもが抱える問題について研究している。

橋本 壘

HASHIMOTO, Rui

准教授 修士(人間科学)

歴 早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得後退学。国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所流動研究員、目白大学人間学部/心理学部助教、早稲田大学人間科学学術院准教授を経て現職
 研 精神疾患や慢性身体疾患に対する認知行動療法を専門としている。現在は、人工知能による心理面接内の発話内容の質評価の検討や、職場のメンタルヘルス向上のための予防的支援の研究実践等を行っている。

日高 響子

HIDAKA, Kyoko

専任講師 博士(公衆衛生学)

歴 筑波大学大学院人間総合科学学術院パブリックヘルス学位プログラム修了。筑波大学附属病院臨床心理士、つくば市発達相談員を経て現職
 研 医療心理学を専門とし、身体疾患をもつ患者と家族の心理支援や小児がんサバイバーの精神健康支援などについて研究している。

高橋 稔

TAKAHASHI, Minoru

教授 修士(教育学)

歴 筑波大学大学院博士課程心身障害学研究科退学。広島国際大学臨床心理学助手を経て現職
 研 応用行動分析学の考え方や技法を臨床心理学の世界にどのように応用できるかについて研究している。現在は、Acceptance and Commitment Therapyの技法の効果検証を行ったり、不安体験中の主体的行為についてアイトラッキング装置を用いて研究している。

浅見 祐香

ASAMI, Yuka

専任講師 博士(人間科学)

歴 早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。新潟大学人文社会科学系講師を経て現職
 研 主に、認知行動療法の立場から、依存行動や犯罪行為の維持メカニズムおよび効果的な心理学的支援について研究している。現在は、クレプトマニア(窃盗症)やギャンブル、ゲームなどの行動嗜好を対象とした治療や予防に関する研究を実施している。

笹川 智子

SASAGAWA, Satoko

教授 博士(人間科学)

歴 早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。早稲田大学人間科学学術院助教を経て現職
 研 社交不安症の治療と予防に関する研究を、主として認知行動論的な立場から実施している。また、精神発達病理学的な観点から、児童青年期の不適応症状の発現に関連する要因について幅広く検討している。

黒沢 幸子

KUROSAWA, Sachiko

教授 文学修士

歴 上智大学大学院文学研究科博士前期課程修了。私立立正大学スクールカウンセラー、上智大学・立教大学大学院講師等を経て現職
 研 ①学校臨床心理学、スクールカウンセリング、②ブリーフセラピー(解決志向、ナラティブなど)、コミュニティ臨床(ピアサポート、コンサルテーション、心理教育)

駒沢 あさみ

KOMAZAWA, Asami

専任講師 博士(心理学)

歴 東京成徳大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻博士後期課程修了。国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター科研究員等を経て現職
 研 主に精神科医療の領域で、うつ病などの精神疾患に対する認知行動療法の臨床研究や、ポジティブ心理学(特に、個人の強みを活かす視点)を取り入れた研究を行っている。

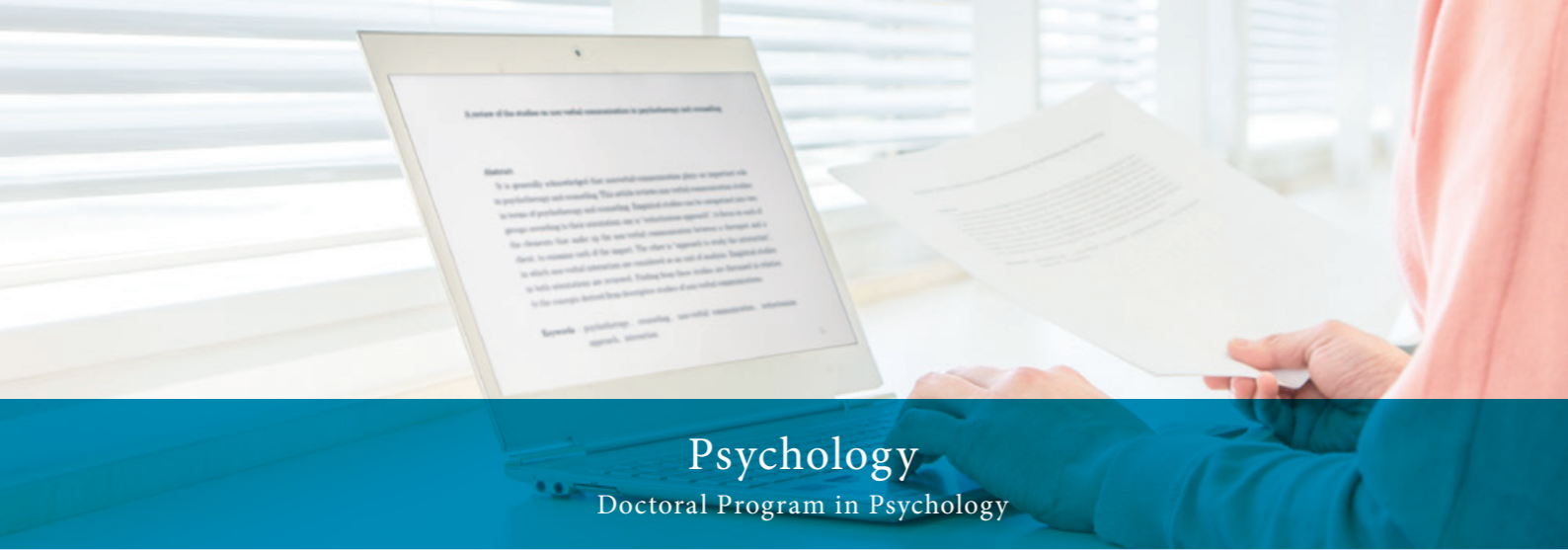
教員紹介 検索ページ

著書・論文歴、所属学会、学会発表など教員についての詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「教員紹介 検索ページ」はこちら▶





心理学研究科

心理学専攻(博士後期課程)

学位 博士(心理学)

1年次から一貫した個別指導で博士論文を作成

本専攻では、それぞれの分野において豊富な経験を有する研究指導教員が、1年次から一貫して1対1で博士論文作成指導を行います。さらに複数の異なった研究分野の教員から指導を受けることもできます。また、研究内容の深化や研究能力の高度化を図るべく、学会への参加や学術誌への論文投稿を1年次から積極的に促しています。なお、優れた学術論文を既に有して入学した場合、本課程において一貫した研究をまとめれば、修業年限を短縮することも可能です。

博士論文テーマ例

博士論文の主なテーマ例は以下の通りです。また、博士論文の要旨を専攻サイトに公開しています。

- セルフモニタリングが健康の自己管理および心理的ストレスに与える影響
- Cosmetic Program の心理的効果に関する研究
- 書記的方法を用いた「対話的自己」と適応に関する研究
- カウンセリングにおける対人関係表現 ～人型シールの開発と応用～
- 終助詞「よ」と「ね」の対人コミュニケーション機能
- 飲食店従業員の感情労働と職務満足感
- 自己志向的完全主義と心理的不健康の関連性に関する研究
- 留学生の動機づけおよび対人関係が異文化適応に及ぼす影響に関する研究
- 日常生活の適応の観点から見たエゴ・レジリエンスの実証的研究
- 片づけ行動の心理学的研究：青年後期と成人初期を対象とした検討

※心理学専攻の博士論文は国会図書館に所蔵されています。

担当教員の研究指導分野と主な研究領域一覧 (教員情報はP13・17をご覧ください)

氏名	博士後期課程における研究指導の分野	主な研究領域
庄司 正実	健康心理学	社会精神医学、職場のメンタルヘルス
杉本 希映	カウンセリング心理学、臨床心理学	学校心理学、臨床心理学
今野 裕之*	社会心理学	臨床社会心理学、人格心理学
倉盛 美穂子	発達心理学	発達心理学、教育心理学
河野 理恵	発達心理学	老年心理学、認知心理学

※博士後期課程で学位論文指導の補助ができる教員

▶ 人間の心理的特性を総合的に究明する

本専攻は、心理学研究科修士課程の2専攻(現代心理学専攻と臨床心理学専攻)を統合し、修士課程における教育研究をさらに発展させ、自立して研究活動を行うために必要な高度の研究能力と、その基礎となる豊かな学識を培うことを目的としています。

具体的には、社会心理学、発達心理学、健康心理学、カウンセリング心理学、臨床心理学という5つの分野を研究の柱として設定しつつ、全体として現代社会の心理学研究に適合した、人間の心理的特性の総合的な究明に資する教育研究、ならびに人材養成を図っています。

ADMISSION POLICY | 求める学生像

- 〈心理学研究科全体〉 専攻に関わる心理学的方法論を用いて、研究を実践し高度な専門職業人として社会の発展および個人の健康増進に寄与したいと願っている人。
- 〈心理学専攻(博士後期課程)〉 今日の高度情報化社会における人間心理の複雑化と深刻な問題に専門家として対応できる研究者および実践家を目指す人。

授業科目の概要

(年度によって変更する場合があります)

カリキュラム (修了要件:18単位以上)

科目名	単位数		配当年次
	必修	選択	
心理学研究指導I	2		1
心理学研究指導II	2		1
心理学研究指導III	2		2
心理学研究指導IV	2		2
心理学研究指導V	2		3
心理学研究指導VI	2		3
社会心理学特殊研究		2	1・2・3
発達心理学特殊研究		2	1・2・3
健康心理学特殊研究		2	1・2・3
カウンセリング心理学特殊研究		2	1・2・3
臨床心理学特殊研究		2	1・2・3

■ 研究指導科目[必修]

心理学研究指導I・II・III・IV・V・VI

1年次にIおよびII、2年次にIIIおよびIV、3年次にVおよびVIを履修する。3年間主たる指導教員より学位を取得できるよう一貫した個別指導を受ける。個別指導により学会発表および論文投稿ができるようにする。

■ 特殊研究科目[選択]

社会心理学特殊研究 担当:今野 裕之

社会的自己、対人関係などを中心テーマにして、社会心理学を研究するための応用的な学習と隣接領域の研究をサポートする社会心理学的な視野の陶冶に努める。

発達心理学特殊研究 担当:倉盛 美穂子

生涯発達心理学の視点に立ち、特に乳児期から児童期に関する論文を通して、最新の研究動向および課題に関する理解を深めるとともに、そこで得られた知見を各自の研究へと繋げていく。

発達心理学特殊研究 担当:河野 理恵

生涯発達心理学の視点に立ち、特に成人期から老年期に関する論文や書籍を通して心理学的研究の背景や理論、研究方法、および研究結果とその応用について理解し、各自の研究に繋げていくことを目指す。

健康心理学特殊研究 担当:庄司 正実

面接法による精神医学的診断、質問紙法によるうつやストレスの評価方法などを理解し、実際の研究に応用できるようになることを目指す。

カウンセリング心理学特殊研究 担当:杉本 希映

児童期から青年期にかけての臨床心理学における文献を購読し、最新の研究動向や課題に対する知見を深めることを目指す。その上で、各自の研究課題について検討していく。

臨床心理学特殊研究 担当:杉本 希映

臨床心理学における予防教育、心理教育に関する文献を購読し、最新の研究動向や課題に対する知見を深めることを目指す。その上で、各自の研究課題について検討していく。

シラバス

担当教員、授業方法・内容(スケジュール)、評価の方法などの詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト「シラバス」はこちら▶



本学公式サイト
「専攻ページ」はこちら▶



Business Administration
Master's Program in Business Administration

経営学研究科

経営学専攻 (修士課程)

学位 修士 (経営学)

▶ 経営実務をリードする高度な実践能力を養う

本専攻は、近年の企業経営を取り巻く環境のめまぐるしい変化に適応し、経営上の問題を発見・解決できる能力を備えた専門的職業人や、企業における上級・中級経営管理者などの養成を目標としています。「数量的・実証的アプローチの重視」という教育・研究方針に基づき、まず企業経営の実際を観察した上で、そこから理論モデルを適用します。それを数量的に分析して現実世界の動きを予測し、さらにその予測結果を再び現実世界の動きに応用するという手法を基本として用います。この手法を基に、経営学諸分野の基礎理論による考察だけでなく、それを適用した教育実践を行い、実際の経営問題の解決に応用していきける能力を養成します。

ADMISSION POLICY | 求める学生像

より高度な経営能力を身に付けたい人、または、経営能力のスキルアップを目指す人。
なお、学部程度の経営学の知識があることが望ましい。

例えば、(1) 自立的に創造性を発揮して経営する能力を身につけたい方、(2) 自らのキャリアや人生をジャンプアップしたい方、(3) これまで培ってきた実務の経験を整理してまとめたい方、(4) 起業を計画している方、(5) ボランティア等のマネジメントについて学びたい方、(6) 医療・介護分野に携わり問題解決を目指したい方、(7) 広く経営学を学んで応用能力を身につけたい方、(8) 1つの問いを出し考察して納得解を導き出したい方、(9) 多くの人が気づいていないことを研究したい方、(10) 活動・活躍の幅を広げたい方を歓迎します。

数量的・実証的な手法で経営問題の解決策を検証

すべての組織を対象とする経営管理、会計学、マーケティング、ホスピタリティ・マネジメントなどについて、諸科学に基づき経営に関する教育研究を行っています。カリキュラムは経営学分野の「会計学領域」と「経営管理領域」から編成。講義だけでなく、ケーススタディーや演習、実践的実習などを数多く組み合わせた教育を実践しています。企業で実際に導入されている経営システムや企業モデルなどを用いて教育研究を行い、それらを改善、開発、構築しうる能力の開発を目指します。

POINT 経営学分野の2つの領域から科目を選び、経営問題への応用力を養成



会計学領域

会計学研究者・企業内会計専門職・
税理士・公認会計士などをを目指す

会計理論(財務会計)、管理会計、租税法、法人税法、監査論の各分野、およびこれらに関する経営学特別演習(ゼミナール)を中心に履修します。

主な研究キーワード

- 租税法律主義
- 活動基準原価計算
- 益金と損金
- 制約条件理論(TOC)
- 所得区分
- 企業間協力における利益配分価格



経営管理領域

経営組織・人的資源管理・
流通・マーケティング・
経営情報などの専門家を目指す

経営組織、経営情報、人的資源管理、ホスピタリティ・マネジメント、サービス経営、品質管理、マーケティング、数理モデルの各分野、およびこれらに関する経営学特別演習(ゼミナール)を中心に履修します。

主な研究キーワード

- 新規事業開発
- 組織学習
- パーパス経営
- オープンイノベーション
- ホスピタリティ・マネジメント
- 企業のICT活用

2領域を
横断的に学び
深い知見へ

修了要件

2つのコースから選択

- 修士論文コース 30単位以上の修得と修士論文の作成
- 特定課題論文コース 40単位以上の修得と特定課題論文の作成

COLUMN

論文指導

論文指導担当教員の下、それぞれの研究テーマを深化させ、修士論文を作成します。



佐々木 茂 教授

マーケティングを中心として、流通システム、地域マーケティング、地域発国際戦略、観光まちづくりを対象に、フィールドでの実践と理論を双方向から見つめ、融合させながら研究に取り組んでいます。



伊藤 利佳 教授

研究分野は、数理最適化、データ解析、オペレーションズ・リサーチです。ビッグデータをはじめとした多様なデータの利用可能性を視野に、現代の不確定状況下における最適化モデルの構築、社会課題の解決および分析を行っています。



岩永 洋平 教授

リレーションシップやコミュニケーションなどが研究テーマです。指導領域であるマーケティングは市場での検証を通じて発展した学問であり、実践を見据えた院生の研究を支援します。

税理士試験科目の免除制度

本専攻にて一定の条件を満たすことで、税理士試験科目の免除措置を受けることができます。詳細は国税庁のWebサイトなどをご確認ください。

会計学1科目について免除を受けるための条件は以下の通りです。

- 1 本専攻において所定の会計学科目を修得すること
- 2 会計学担当の教授等の研究指導を受けた上で、会計学を研究する修士論文を作成し、修士の学位を得ること
- 3 税理士試験において簿記論もしくは財務諸表論のいずれか1科目に合格していること
- 4 ①~③の要件を満たしている者が、前記②の修士論文について国税審議会における審査に合格すること

税法科目2科目について免除を受けるための条件は以下の通りです。

- 1 本専攻において所定の税法科目を修得すること
- 2 税法担当の教授等の研究指導を受けた上で、税法を研究する修士論文を作成し、修士の学位を得ること
- 3 税理士試験において税法科目について1科目以上合格していること
- 4 ①~③の要件を満たしている者が、前記②の修士論文について国税審議会における審査に合格すること

修士論文テーマ例

修士論文は、1年次より段階を踏みながら作成に取り組んでいきます。

- 歯科医療における治療法の選択基準に関する一考察
~ホスピタリティマネジメント理論からのアプローチ~
- セブンイレブンのコンビニエンスストアにおけるホスピタリティ人材の育成方法に関する研究
- 台湾と日本における若年世代のキャッシュレス・ペイメントに関する一考察
- 利用者の欲求・願望を叶える介護の実践に関する一考察
~ホスピタリティマネジメント理論の視点から~
- ホスピタリティマネジメント理論の視点から
プレステージ・インターナショナルの成長要因について考察する
- 中国におけるフードデリバリーの消費者行動に関する一考察
- タイ日系企業におけるホワイトカラー専門職のキャリア形成のあり方に関する一考察
—専門職としての将来的な通訳キャリア形成を中心として—
- 中国におけるEVの購買意思決定に関する一考察
- 中国の中小企業における革新的な人材の育成方法に関する一考察
- 顧客ロイヤリティプログラムの会計処理に関する研究
- 動的活動基準原価計算の展開
- 同族会社等の行為計算否認規定の今日的意義とあり方について
—法人税法132条1項を中心として—

本学公式サイト
「専攻ページ」はこちら▶



授業科目

▶ カリキュラム (修了要件:30単位以上 ただし、特定課題論文コースは40単位以上)

科目名	単位数		配当年次
	必修	選択	
会計学原理特論I	2		1・2
会計学原理特論II	2		1・2
原価計算特論I	2		1・2
原価計算特論II	2		1・2
経営分析特論I	2		1・2
経営分析特論II	2		1・2
監査特論	2		1・2
法人税法特論	2		1・2
租税法特論I	2		1・2
租税法特論II	2		1・2
経営戦略特論I	2		1・2
経営戦略特論II	2		1・2
ホスピタリティ・マネジメント特論I	2		1・2
ホスピタリティ・マネジメント特論II	2		1・2
人的資源管理特論I	2		1・2
人的資源管理特論II	2		1・2
マーケティング特論I	2		1・2
マーケティング特論II	2		1・2
マーケティング・コミュニケーション特論	2		1・2
リテール・マーケティング特論	2		1・2
データサイエンス特論	2		1・2
品質経営特論	2		1・2
ファイナンス特論	2		1・2
金融工学特論	2		1・2
経営情報特論I	2		1・2
経営情報特論II	2		1・2
経営組織特論I	2		1・2
経営組織特論II	2		1・2
アジア経済特論	2		1・2
グローバル経済特論	2		1・2
経営統計リテラシー特論I	2		1・2
経営統計リテラシー特論II	2		1・2
経営学フォーラムI	2		1
経営学フォーラムII	2		2
経営学特別演習I	1		1
経営学特別演習II	1		1
経営学特別演習III	1		2
経営学特別演習IV	1		2

▶ 履修スケジュール例 (夜間講義を前提とした会計学領域1年次)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	平日第1～2時限は 経営学専攻の授業はありません。					1
2						2
3						3
4	経営分析 特論I 経営分析 特論II					4
5						
夜	租税法特論I 経営学 フォーラムI	租税法特論II 経営学 フォーラムII				
夜	法人税法特論	監査特論	会計学原理 特論I 会計学原理 特論II	原価計算 特論I 原価計算 特論II		

※会計学領域・経営管理領域のどちらも、上記履修スケジュール例に加えて「経営学特別演習I・II」の履修が必要です。「経営学特別演習I・II」の開講時間は指導教員と相談の上、決定します。
※上記の履修スケジュールに書いてある科目は選択して履修するための参考です。すべての科目を1年間で履修する必要はありません。

ハイブリッド型授業の実施

対面授業と遠隔授業[※]を併用したハイブリッド型で実施しています。社会人の方も仕事などのスケジュールを調整しながら学ぶことができます。

※原則オンデマンド授業は対応していません。また、通学することが前提となります。
詳細はオープンキャンパスなどでご確認ください。

社会人が学びやすい環境&サポート

〔経験を生かせる社会人特別入試〕

リカレント教育の流れの中、あなたの実務経験にあなたの問題意識を付加してまとめ、修士論文として仕上げてみませんか？ 出願資格については、入学試験要項をご覧ください。

〔経営学の入門編から学ぶことができます〕

多くの授業科目にはIとIIがあり、Iでは経営学の各分野について入門編から学ぶため、ご安心ください。IIでは応用問題を取り上げます。1つの授業科目についても入門編から講義します。

〔ハイブリッド型授業(対面・遠隔授業)を実施〕

広範囲の地域から学ぶことができるように、対面と遠隔授業の割合についてご相談にお応えています。詳しくはオープンキャンパスなどでご確認ください。

〔じっくり学べる長期履修制度〕

長期履修制度を利用すれば、通常2年の修業年限を超えて計画的に履修することができ、仕事と生活のペースに合わせて学ぶことができます。

〔大学院受験を目指す研究生を受け入れます〕

大学院進学へ向けて準備したい方を研究生として受け入れています。

〔科目等履修生制度を活用できます〕

本研究科に入学前の方でも、希望する科目を履修することができます。大学院入学後の履修について心構えができるとともに、修得した単位は大学院の正規の単位として認定されます。

〔教育訓練給付制度を利用することができます〕

経営学専攻は、「一般教育訓練給付」の対象講座として指定を受けています。(詳細はP4を参照)

〔都心の好立地と緑豊かな環境〕

新宿副都心を一望でき、社会人学生にとって通学しやすい便利なアクセスが特徴です。また、都心でありながら四季折々の景色が味わえる自然豊かなキャンパスでリラックスして学ぶことができます。

▶ 履修スケジュール例 (夜間講義を前提とした経営管理領域1年次)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	平日第1～2時限は 経営学専攻の授業はありません。					1
2						2
3						3
4	リテール マーケティング 特論II	ファイナンス 特論				4
5						
夜	アジア経済 特論 グローバル経済 特論	経営組織 特論I 経営組織 特論II	経営学 フォーラムI 経営学 フォーラムII	経営情報 特論I 経営情報 特論II	ホスピタリティ・ マネジメント特論I ホスピタリティ・ マネジメント特論II	
夜	経営統計 リテラシー特論I 経営統計 リテラシー特論II	人的資源 管理特論I 人的資源 管理特論II				

…春学期 …秋学期

シラバス

担当教員、授業方法・内容(スケジュール)、評価の方法などの詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト
「シラバス」はこちら▶



教員紹介

マークの説明

歴 主な経歴 研 現在の主たる研究領域・テーマ

修 学位論文の指導ができる教員

修士論文の指導については、学生の研究内容により指導担当以外の教員も論文指導を行います。詳細はオープンキャンパスなどでお問い合わせください。

佐々木 茂

SASAKI, Shigeru

教授・研究科長 博士(商学)

歴 明治大学商学研究科博士後期課程満期退学。高崎経済大学教授、東洋大学国際観光学部教授を経て現職

研 ①流通システム ②地域発国際戦略 ③国際観光マーケティング

土井 正

DOI, Tadashi

教授 修士(経済学)

歴 筑波大学大学院博士課程ビジネス科学研究科満期退学。河北新報社勤務。中国・清華大学公共管理学院招聘副教授、麗澤大学経済学部准教授等を経て現職

研 ①電子市場における情報仲介ビジネス・モデル ②「不利益情報」の共有・開示と組織マネジメント ③知的資産経営情報の活用。

湯澤 晃明

YUZAWA, Takaaki

専任講師 博士(商学)

歴 明治大学大学院商学研究科博士後期課程修了。現・目白大学経営学部専任講師
研 現代ドイツ会計制度の研究。

岩永 洋平

IWANAGA, Yohei

教授・専攻主任 博士(知識科学)

歴 法政大学大学院政策創造研究科・博士前期課程修了、北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術専攻・博士後期課程修了。シंकタンク・広告会社でのマーケティング職務を経て現職

研 リレーションシップ・地域活性化・ダイレクトマーケティングなどの分野で、市場実践と社会的課題を踏まえた研究を行う。

今林 正明

IMABAYASHI, Masaaki

教授 工学修士

歴 東京理科大学大学院理工学研究科経営工学専攻修士後期課程満期退学。東京理科大学諏訪短期大学経営情報学科専任講師等を経て現職

研 ①管理会計学：事業部業績評価における共通固定費の配賦問題ならびに事業部間の代替価格設定問題への、協力n人ゲーム理論の適用、②原価計算論：直接原価計算を前提とした製造間接費の配賦問題について、③会計学指導法。

伊藤 真一

ITO, Shinichi

専任講師 博士(経営学)

歴 明治大学大学院経営学研究科博士後期課程修了。現・目白大学経営学部専任講師
研 経営組織論。特に社会構成主義や社会物質性アプローチに立脚した組織研究。

伊藤 利佳

ITO, Rika

教授 博士(工学)

歴 東京理科大学大学院工学研究科経営工学専攻修士課程・博士課程修了。東邦大学、理化学研究所、宇宙航空研究開発機構研究員を経て現・目白大学経営学部経営学科長

研 数理計画法、シミュレーション、データ解析技術などを用いて、生産の効率化および品質の向上を実現するための手法に関する研究を行っている。

織田 薫

ODA, Kaoru

教授 博士(経済学)

歴 一橋大学経済学部卒業、神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。東海銀行(現三菱UFJ銀行)入行、調査部、ニューヨーク支店、リテール企画部等勤務、MUTビジネスアウトソーシング株式会社常勤監査役を経て現職

研 組織の意思決定、組織の行動メカニズム、組織行動が及ぼすマクロ経済への影響などが主要な研究領域。特に、銀行行動を計量的に分析し、銀行が果たすべき機能を明らかにすることが直近の主要な研究テーマである。

袁 琳

YUAN, Lin

専任講師 博士(商学)

歴 明治大学大学院商学研究科博士後期課程修了。現・目白大学経営学部専任講師
研 マーケティング・コミュニケーションを主たる研究領域とし、特にクチコミを中心とする消費者間情報伝達の影響に関心を持つ。情報の拡散メカニズムを理論的・実証的に分析し、企業の戦略的活用のあり方を明らかにすることが直近の主要な研究テーマである。

竹内 進

TAKEUCHI, Susumu

教授 法学修士

歴 東洋大学大学院法学研究科修士課程修了。現・目白大学経営学部教授

研 租税法に対する法律学からのアプローチ。租税政策(tax policy)。

高辻 成彦

TAKATSUJI, Naruhiko

准教授 ファイナンス修士(専門職)

歴 多摩大学大学院経営情報学研究科博士後期課程満期退学。早稲田大学専門職大学院ファイナンス研究科修士課程修了。経済産業省、いちよし証券(株)などを経て現職

研 会計・ファイナンス。特に企業財務を専門とする。研究領域は業界・企業分析、IR(投資家向け広報)、コーポレートガバナンスなど。

周 瀟霄

ZHOU, Xiaoxiao

専任講師 博士(技術経営)

歴 東京科学大学大学院イノベーション科学系博士後期課程修了。目白大学経営学部助教を経て、現職

研 イノベーション・マネジメントを中心として、デジタル・プラットフォーム環境におけるコンテンツ・イノベーションおよび価値創出プロセスについて、大規模データを用いた実証分析を行っている。

教員紹介 検索ページ

著書・論文歴、所属学会、学会発表など教員についての詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「教員紹介 検索ページ」はこちら▶



Social Work Services
Master's Program in Social Work Services

生涯福祉研究科

生涯福祉専攻(修士課程)

学位 修士(社会福祉学)または 修士(保育学)

教育研究の2つの柱は社会福祉と保育・発達支援

本専攻のカリキュラムは、「社会福祉」と「保育・発達支援」の2つの研究領域から科目を選択履修し、修了時には履修科目と修士論文の内容によって「修士(社会福祉学)」または「修士(保育学)」のいずれかの学位が取得できます。また、生涯福祉に関する教育研究を進めるにあたり、権利擁護、倫理学、精神医学、心理学などに関する諸学問を福祉に統合していくのが特徴です。このため教授陣に、福祉領域のみならず心理学、医学分野を専門とする教育研究者を数多く配置しています。

POINT 幅広い年代の対人援助の実践家・研究者を目指す



▶ 一生涯の視点から多様化する福祉課題に向き合う

近年、人間の一生(ライフサイクル)の視点から、一貫した支援の重要性が認識されています。本専攻では、乳幼児期に始まって保育・発達支援から高齢期における介護支援まで、あらゆる世代において多様化、深刻化する社会福祉の課題を体系的に学ぶことができます。本専攻は、教育研究の柱として「社会福祉」と「保育・発達支援」の2つの研究領域を設定しています。1年次に生涯福祉に関する基礎的素養を身につけ、自身の興味や関心に応じてどちらかの領域に主眼を置いて研究を進めることにより、新たな福祉社会の実現に向けた社会福祉の研究者および高度な専門性を備えた対人援助の実践家を目指します。

ADMISSION POLICY | 求める学生像

- 1 幼児期の保育・発達支援から高齢者支援に至る生涯福祉領域に関心を持ち、ソーシャルワーク、発達支援、介護支援の高度な専門的能力の修得に意欲を持つ人。
- 2 大学院修了後に福祉関連領域の研究者を目指して努力する人。
- 3 児童・障害・高齢者・精神保健などの社会福祉施設や教育機関で相談支援、介護、生活支援、施設運営、保育や幼稚園教育などに従事し、キャリアアップやリカレントの意志をもって実践的研究を目指す人。
- 4 留学生のうち、将来母国の福祉や保育・発達支援領域の仕事に従事したいと志す人。

COLUMN

社会人の学びをサポート

本専攻では、社会人に向けて各種サポートを行っています。

じっくり学べる長期履修制度

仕事と生活のペースに合わせて、通常2年の課程を4年まで履修期間を延長できる制度です。

履修しやすい開講形式

月曜日から金曜日は夜間を中心に、土曜日は昼間のみ開講しています。また学生のさまざまなライフスタイルに応じるため、授業は対面授業と遠隔授業を併用したハイブリッド型で実施しています。

経験を生かせる社会人向け入試

社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・保育士の有資格者の方、社会福祉や保育、医療、教育などの職場での経験を持つ方、一般企業での就労経験を持ち、福祉分野に関心のある方などを対象にした入試制度(社会人特別入試・AO入試)を用意しています。各出願資格については、入学試験要項(本学公式サイトにて6月下旬公開予定)をご覧ください。

在学生&修了生について

本専攻は、社会人の方が無理なく通学できるように昼夜開講制の授業やカリキュラムに配慮しているため、働きながらキャリアや専門的能力の向上を目指すことができます。

【社会人学生の職業・キャリアのご紹介】

相談支援事業所(精神保健福祉士)、生活介護施設(支援員)、保育園・幼稚園、私立短期大学(教員・スクールカウンセラー)など

【幅広い領域で活躍する修了生】

療育施設、発達支援センター、障がい者施設、児童福祉施設、私立大学(教員)、大学院博士後期課程への進学など



修士論文テーマ例

修士論文は、入学時から修了まで担当教員が一貫して「特別研究」という正規の授業で個別に指導します。担当教員は論文指導にとどまらず、修了後の進路を見据えた科目選択のアドバイスなども行います。また一部の修士論文については、要旨を専攻サイトにて公開しています。

【修士(社会福祉学)】

- 薬物依存症回復支援を担うダルクの社会に対する要望についての研究
- 一回復者スタッフへのインタビュー調査から
- 訪問介護におけるサービス提供責任者の苦情対応力と関連要因

【修士(保育学)】

- 同僚保育者間の「気になる」子どもへの視点の差異と共通認識についての研究
- 保育カンファレンスと保育者間の協働の関係に関する研究





Language and Culture Studies
Master's Program in Japanese and Japanese Language Education

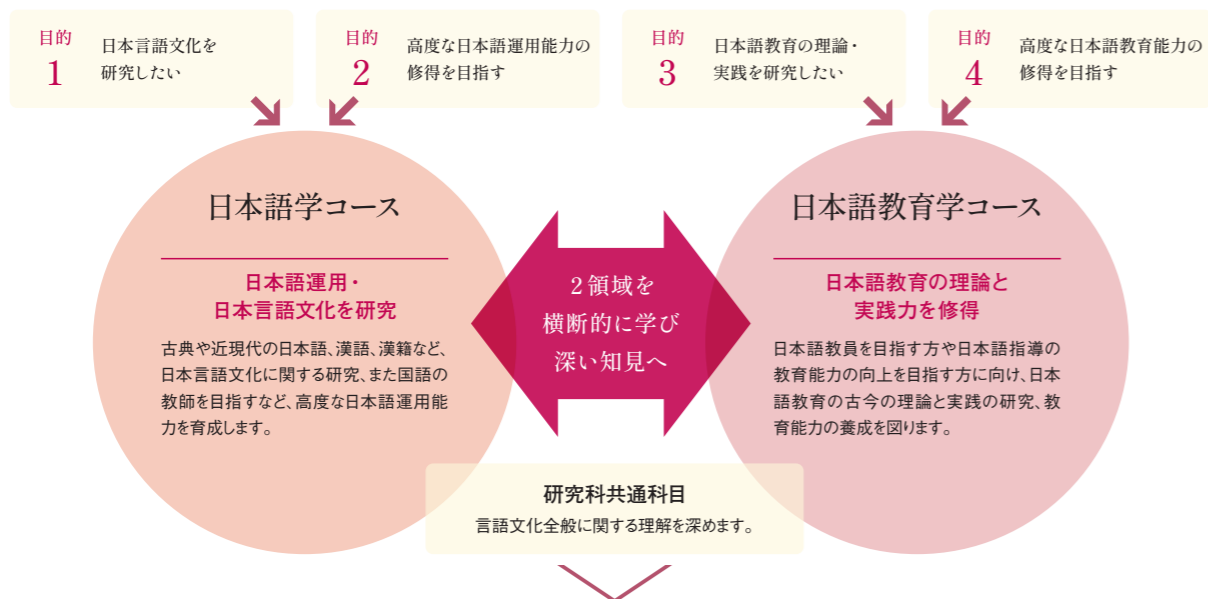
言語文化研究科
日本語・日本語教育専攻(修士課程)

学位 修士(日本語学)

「国語」「外国語」として両面から日本語を研究

本専攻では、「日本語学」「日本語教育学」の2つの科目群(コース)を設置しています。研究テーマに沿って両科目群から関心のある科目を選択し、履修することができます。そのほか、研究科共通科目の「言語習得論」「語用論」「国際理解特論」などを学ぶことで言語文化全般に関する理解を深め、また自主的な研修や調査に基づき研究テーマの発展を目指す「臨地研究」では実践を通して研究を進めています。これにより、日本語を国語として、および外国語としての両面から研究することが可能です。

POINT 希望の進路や研究テーマに合わせて2コースから科目を選択



「国語」「外国語」の両面から日本語学・日本語教育学の知見を身につける

▶ 国際的視野を備えた日本語研究能力と実践力を養成

本専攻では、日本語学・日本文化について造詣を深め、かつ国際的視野を持つ高度な日本語教育能力を備えた人材を育成しています。希望の進路に応じて「日本語学」「日本語教育学」の2つの科目群(コース)から学びます。「日本語学コース」では日本語文化研究および高度な日本語運用能力の育成を課題とし、古典や近現代の日本語、漢語、漢籍など、日本語学に関する科目を中心に履修。「日本語教育学コース」では、日本語教育の古今の理論と実践の研究、および教育能力の育成を課題とし、第二言語習得、教材開発など、日本語教育学の基幹となる科目で学びます。

ADMISSION POLICY | 求める学生像

- 〈言語文化研究科全体〉
 - 1 専攻に関わる言語の運用能力の涵養と更なる向上に強い意欲を持つ人
 - 2 専攻に関わる言語の高度な運用能力を活かした職業(教員・実務家・公務員等)に就くことを希望している人
 - 3 各言語文化の分野において、将来、専門的な研究に従事することを希望している人
- 〈日本語・日本語教育専攻〉
 - 1 自らの日本語運用能力の更なる向上に強い意欲を持つ人
 - 2 外国人に日本語を教える日本語教員になることを希望している人、あるいは現職の日本語教員で自らの指導技術の更なる向上を目的としている人
 - 3 中等教育における国語科担当教員を志望している人、あるいは現職の国語科担当教員で自らの指導技術の更なる向上を目的としている人
 - 4 将来、日本語学や日本語教育学の分野において専門的な研究に従事することを希望している人
 - 5 通訳・翻訳家を目指している者、あるいは高度な日本語力を活かした職業に就くことを希望している人

COLUMN

研究室 論文指導担当教員の下、それぞれの研究テーマを深化させ、修士論文を作成します。



池田 広子 研究室

ゼミ生が取り組むテーマは、日本語教育(第二言語習得、ビジネス日本語、教師教育、年少者日本語教育など)です。学生の経験・実践や関心を尊重しながら内容を検討します。



時本 真吾 研究室

脳波を手がかりにしたコミュニケーションの脳科学が研究テーマですが、アンケート調査からパソコンを使った文や文章理解の実験、コーパス研究の統計解析も行います。



金庭 久美子 研究室

ゼミでは日本語母語話者や学習者の日本語使用状況に注目して、コーパスを用いた研究やプロフィেশナーに関する論文を読み、個々の学生のテーマに即して検討を行います。

資格取得 本専攻では、以下の資格取得へのサポートを行っています。

中学校教諭専修免許状(国語)／高等学校教諭専修免許状(国語)

本専攻の指定科目を履修して専修免許状を取得できるのは、原則として、本専攻入学時点で該当教科の中学校教諭一種免許状または高等学校教諭一種免許状を取得している方です。一種免許状との同時取得はできません。

在学生&修了生について

本専攻の修了生は、希望の進路やキャリアに応じたコース選択により、国内外で幅広く活躍しています。

【さまざまなキャリアの有職者が進学】

日本語教師(語学学校)／大学・短期大学講師／専門学校教員／高等学校教員／図書館司書／出版業／留学生支援事業／製造業

【修了生の就職先・進学先】

【就職】 目白大学日本語教育センター(講師)／国際医療福祉大学保健医療学部理学療法学科(准教授)／志学館大学(講師)／江戸カルチャーセンター日本語学校(教師)／韓国・建陽大学校(講師)／中国・武漢大学(講師)／中国・集美大学(講師)／中国・華東師範大学(日本語専攻教員)／中国・チチハル大学(外事処担当)

修士論文テーマ例

修士論文は、当該分野の論文を精読しつつ論文執筆の方法論を確立する「研究論文指導演習」によって、より実践に即した学術研究を進めて論文作成へと繋げていきます。また一部の修士論文については、要旨を専攻サイトにて公開しています。

- 日本語教師の中長期的キャリア形成過程の分析と類型化の試み
 - TEM図による可視化をもとに
- 日本で就職したJFL学習者の職場への適応過程に関する考察
 - ビジネス日本語、ビジネスマナーを中心に
- 介護現場で必要とされる用語集とその使用実践
 - インドネシア人介護職員と日本人現場職員へのアンケートとインタビューを活用して—
- 漢語サ変動詞の自動詞・他動詞使用に関する考察
 - 「充実する」に着目した調査から見えてくるもの—
- 断りに関するフィラーの特徴および機能に関する研究
 - 中国人学習者の問題点の解明を目指して—
- 日本語教科書における「いただく」の補助動詞用法に関する考察
 - 日本語母語話者の使用実態との比較—

本学公式サイト

「専攻ページ」はこちら▶



授業科目

(年度によって変更する場合があります)

▶ カリキュラム (修了要件:30単位以上)

科目名	単位数		配当年次	備考
	必修	選択		
言語習得論		2	1・2	研究科共通科目の中から、6単位以上選択必修
語用論		2	1・2	
音声学特論★		2	1・2	
対照言語学特論		2	1・2	
言語統計論★		2	1・2	
国際理解特論★		2	1・2	
異文化研究史論		2	1・2	
政治言語文化論		2	1・2	
日本民俗文学論★		2	1・2	
比較文化研究		2	1・2	
比較宗教研究		2	1・2	
アメリカ研究		2	1・2	
アジア研究		2	1・2	
ヨーロッパ研究		2	1・2	
イスラム研究		2	1・2	
多文化心理援助学特論		2	1・2	
研究科共通科目				
日本古典語史研究★		2	1・2	研究科共通科目(選択必修6単位以外)、および他専攻科目ならびに他研究科の開放科目から、自由選択としての上限6単位を含め20単位以上選択必修
日本近代語史研究★		2	1・2	
日本漢籍研究★		2	1・2	
日本漢語研究★		2	1・2	
現代日本語文法研究★		2	1・2	
現代日本語彙研究★		2	1・2	
中間言語研究★		2	1・2	
日本語学習支援研究★		2	1・2	
教材開発研究		2	1・2	
海外日本語教育機関研究		2	1・2	
言語教育比較研究★		2	1・2	
日本文学特論		2	1・2	
臨地研究1(短期)★		2	1・2	
臨地研究2(長期)		4	1・2	
研究論文指導演習1	2		1・2	
研究論文指導演習2	2		1・2	
研究論文指導演習3	2		2	
研究論文指導演習4	2		2	
専攻科目				
日本語学				
日本語教育学				
臨地研究				
研究論文指導演習				

★印は専修免許状取得該当科目

▶ 履修スケジュール例 (日本語学コース1年次の場合)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	平日第1～2時限は 日本語・日本語教育専攻の授業はありません。					言語習得論
2	平日第1～2時限は 日本語・日本語教育専攻の授業はありません。					
3				語用論		
4			日本語研究		現代日本語文法研究	
5			日本語研究		現代日本語彙研究	
夜1		対照言語学特論		研究論文指導演習1		
夜2				研究論文指導演習2	言語統計論	
夜1		国際理解特論				
夜2						

…春学期 …秋学期

▶ 履修スケジュール例 (日本語教育学コース1年次の場合)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	平日第1～2時限は 日本語・日本語教育専攻の授業はありません。					言語習得論
2	平日第1～2時限は 日本語・日本語教育専攻の授業はありません。					
3				語用論		
4			中間言語研究	現代日本語文法研究	現代日本語彙研究	
5		対照言語学特論	海外日本語教育機関研究	研究論文指導演習1		
夜1			教材開発研究	研究論文指導演習2	言語統計論	
夜2			日本語学習支援研究			

…春学期 …秋学期

ハイブリッド型授業の実施

対面授業と遠隔授業[※]を併用したハイブリッド型で実施しています。社会人の方も仕事などのスケジュールを調整しながら学ぶことができます。

※原則オンデマンド授業は対応していません。また、通学することが前提となります。詳細はオープンキャンパスなどご確認ください。

シラバス

担当教員、授業方法・内容(スケジュール)、評価の方法などの詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「シラバス」はこちら▶



教員紹介

マークの説明

歴 主な経歴 研 現在の主たる研究領域・テーマ

修 学位論文の指導ができる教員

修士論文の指導については、学生の研究内容により主指導担当以外の教員も論文指導を行います。詳細はオープンキャンパスなどお問い合わせください。

池田 広子

修

IKEDA, Hiroko

教授・研究科長・専攻主任 博士(人文科学)

歴 お茶の水女子大学大学院日本語教育コース博士前期・後期課程修了。お茶の水女子大学大学院リサーチフェロー・講師、立教大学専任教育講師を経て現職

研 ①日本語教師教育に関する実証的研究②ビジネス日本語、中国およびベトナムの日本語教育

時本 真吾

修

TOKIMOTO, Shingo

教授 博士(英語学・心理学)

歴 早稲田大学第一文学部英文学専修卒業、獨協大学大学院外国語学研究所英語学専攻博士後期課程修了、東京大学大学院人文社会系研究科心理学専門分野博士課程修了

研 英語学、理論言語学、実験心理学、神経言語学

金庭 久美子

修

KANENIWA, Kumiko

教授 博士(学術)

歴 横浜国立大学大学院教育学研究科修士課程修了、埼玉大学大学院文化科学研究科博士後期課程修了、立教大学日本語教育センター特任准教授を経て現職

研 1.日本語教育における聴解指導に関する研究 2.コーパスを利用した日本語研究

石原 健

ISHIHARA, Takeshi

准教授 修士(言語学)、MSc(音声・言語処理)、PhD(言語学)

歴 上智大学大学院外国語学研究所博士前期課程修了、エジンバラ大学大学院理論・応用言語学修士・博士課程修了。現・目白大学外国語学部准教授

研 コーパス分析と実験により、音声・言語処理を計量的に分析し、理論の検証を行う。

河野 秀樹

KONO, Hideki

准教授 Master of Art in Intercultural Relations(異文化関係学修士)

歴 University of the Pacific, USA Master's in Intercultural Relations 修了。長野県教育委員会を経て現・目白大学外国語学部日本語・日本語教育学科准教授

研 異文化間コミュニケーション・多様性を内包する集団での「場」の原理による関係生成と共創

小野 諒巳

ONO, Asami

専任講師 博士(文学)

歴 國學院大学大学院博士課程後期修了。國學院大学兼任講師等を経て現職

研 日本上代文学(『古事記』『日本書紀』『万葉集』等)を主な対象とし、歌と散文によって表現される古代の歴史を中心に研究している。



教員紹介 検索ページ

著書・論文歴、所属学会、学会発表など教員についての詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「教員紹介 検索ページ」はこちら▶



Language and Culture Studies
Master's Program in Chinese and Korean Language and Culture Studies

言語文化研究科

中国・韓国言語文化専攻(修士課程)

学位 修士(中国言語文化)または 修士(韓国言語文化)

中国語・韓国語の言語文化研究および運用能力の向上を目指す

本専攻は、「中国言語文化コース」と「韓国言語文化コース」の2つの科目群からカリキュラムを構成しています。「中国言語文化コース」では中国語圏の言語文化研究のための専門科目に加え、高度な中国語運用能力の育成を目的とする科目を開設。「韓国言語文化コース」では韓国語運用能力の向上を図りながら、韓国語圏の言語文化研究に関する科目に加え、韓国語教育の現場に必要な技法・知識を修得するための科目を設けています。また、東アジアに関する知識を身につける専攻共通科目を履修し、東アジアの言語文化について、より多角的な知見へと繋がります。

POINT 中国語・韓国語の2コースを柱に東アジアの言語文化を探究



中国言語文化コース

中国言語文化の深い理解へ

中国語圏の言語文化研究に必要な専門知識を身につけます。また、より高度な中国語運用能力も育成します。

主な研究キーワード

- 中国語通訳・翻訳
- 文字と語彙の規範化
- サブカルチャー面の「統合」

東アジア言語文化の深化へ

専攻共通科目

東アジア関係の体系的な知識を身につけられる科目を設置しています。東アジアの言語文化について、幅広い研究が可能です。

研究科共通科目

言語文化全般に関する理解を深めます。



韓国言語文化コース

韓国言語文化の研究および指導力の向上

韓国語圏の言語文化研究に必要な専門知識を身につけます。また、韓国語教育の現場で必要となる実践的な技法や知識も修得することができます。

主な研究キーワード

- 翻訳語と映像文化
- 音韻体系と音韻構造
- 韓国語の文化意識

▶ 東アジアの言語文化を包括的、複眼的に理解を深める

本専攻では、東アジア全域を広く視野に入れた中国言語文化・韓国言語文化を研究対象とすることによって、多国籍的な状況が生み出す諸問題に対応できる高度な職業訓練を行い、状況を分析し問題解決に取り組むことのできる学問的素養を有した人材を養成します。カリキュラムは、「中国言語文化コース」と「韓国言語文化コース」の2つの科目群で構成しています。学生は各自の研究テーマに即した言語文化圏の科目を履修するだけでなく、研究科共通科目や東アジア関係の専攻共通科目、さらに両コースの科目を横断的に履修することで、東アジアの言語文化についてより包括的、複眼的に研究を進めることが可能です。

ADMISSION POLICY | 求める学生像

- 〈言語文化研究科全体〉
- 1 専攻に関わる言語の運用能力の涵養と更なる向上に強い意欲を持つ人
 - 2 専攻に関わる言語の高度な運用能力を活かした職業(教員・実務家・公務員等)に就くことを希望している人
 - 3 各言語文化の分野において、将来、専門的な研究に従事することを希望している人
- 〈中国・韓国言語文化専攻〉
- 1 中国または韓国の言語文化に大きな関心を寄せ、これらについての専門的知識を修得することに強い意欲を持つ人
 - 2 中国語または韓国語をすでにある程度習得していて、自らの運用能力の更なる向上に強い意欲を持つ人
 - 3 中国語または韓国語の高度な運用能力を活かして、将来的に長期留学あるいは現地での就職を計画している人
 - 4 中国と日本、あるいは韓国と日本の間を往復しつつ文化的・経済的活動に従事している者、または過去にそのような経験を有する人

COLUMN

研究室 論文指導担当教員の下、それぞれの研究テーマを深化させ、修士論文を作成します。



水野 善寛 研究室

中国語教育史と教材研究を基盤に、ICTやAIも取り入れながら、文献に基づく実証研究を通して、言語と文化の伝達としての教材の設計と伝播を分析しています。



曹 永宝 研究室

日本語母語話者の韓国語学習者を対象に、誤用分析や文法習得過程の分析を行っています。その結果に基づいて、効果的な韓国語教育方法および教材設計のあり方について研究しています。

資格取得 本専攻では、以下の資格取得へのサポートを行っています。

外国語としての韓国語教育資格 (Teaching Korean as a Foreign Language)

本専攻では、韓国語教育に関する専攻科目や本学韓国語学科の指定科目の単位を修得し、教育実習を行うことにより、協定校などと本学が共に認定する韓国語教育の資格「外国語としての韓国語教育資格」(Teaching Korean as a Foreign Language)を取得することが可能です。教育実習は本学指定の機関において2週間、視察実習と授業実習を行います。

在学生&修了生について

学部新卒者から社会人まで多様な学生が学べるように、カリキュラムを設定しています。社会人学生の勤務先および修了生の就職先は以下の通りです。

【社会人学生の勤務先】

シン・インターナショナル/ケイアンドティ/NeoLAB/霞山会 東亜学院(日本語講師・運営管理)
駐日韓国大使館 韓国文化院/目白学園

【修了生の就職先】

中国・集美大学(日本語講師)/上智大学(韓国語講師)/青梅総合高等学校(韓国語講師)
在瀋陽日本国総領事館領事部

修士論文テーマ例

修士論文の主なテーマ例は以下の通りです。

- 「唐音三字経」の音韻考
- 中国戯曲における包拯臉譜の変容とその意義
- 現代京劇「紅灯記」の成立と芸術的意義
- 清末民初における中国女性の意識変化—白話小説を中心に
- 中国延辺朝鮮族自治州における朝鮮族の二言語教育に関する研究
- 中国医食同源思想研究—五味論を中心としたその思想に関する考察—
- 日本語の「している」と韓国語「하고 있다」の対照研究
- 朝鮮時代の通信使研究
- 日韓両語における可能表現の対照研究
- 日本語母語話者のための韓国語教材開発研究—文化項目を中心に—
- 李退溪における命と性と情との関係
- 中世韓国語の音韻—「△」音価の研究—

本学公式サイト
「専攻ページ」はこちら▶



授業科目

(年度によって変更する場合があります)

▶ カリキュラム (修了要件:30単位以上)

科目名	単位数		備考
	必修	選択	
言語習得論	2	1・2	6単位以上選択必修
語用論	2	1・2	
音声学特論	2	1・2	
対照言語学特論	2	1・2	
言語統計論	2	1・2	
国際理解特論	2	1・2	
異文化研究史論	2	1・2	
政治言語文化論	2	1・2	
日本民俗文学論	2	1・2	
比較文化研究	2	1・2	
比較宗教研究	2	1・2	
アメリカ研究	2	1・2	
アジア研究	2	1・2	
ヨーロッパ研究	2	1・2	
イスラム研究	2	1・2	
多文化心理援助学特論	2	1・2	本研究科共通科目、他研究科ならびに他専攻の開放科目から自由選択として上限6単位および臨地研究を含め20単位以上選択必修
東アジア古典文化研究	2	1・2	
東アジア現代文化研究	2	1・2	
東アジア言語研究	2	1・2	
東アジア思想研究	2	1・2	
中国言語理論	2	1・2	
中国文化理論	2	1・2	
中国現代文法論	2	1・2	
中国文化伝播論	2	1・2	
中国社会文化研究	2	1・2	
中国歴史文化研究	2	1・2	
中国メディア研究	2	1・2	
中国言語書誌研究	2	1・2	
中国現代文学研究	2	1・2	
中国言語翻訳演習	2	1・2	
中国言語通訳演習	2	1・2	
中国言語表現演習	2	1・2	
韓国言語文化研究	2	1・2	
韓国語文法研究	2	1・2	
韓国語史研究	2	1・2	
韓国語音韻研究	2	1・2	
韓国語通訳翻訳研究	2	1・2	
韓国語教育研究	2	1・2	
韓国語科教材研究	2	1・2	
韓国中世近世文学研究	2	1・2	
韓国近代文学研究	2	1・2	
韓国語教育研究・実習	2	1・2	
臨地研究1(短期)	2	1・2	
臨地研究2(長期)	4	1・2	
研究論文指導演習1	2	1・2	
研究論文指導演習2	2	1・2	
研究論文指導演習3	2	2	
研究論文指導演習4	2	2	

▶ 履修スケジュール例 (韓国言語文化コース1年次の場合)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	9:30 ~ 11:00	平日第1~2時限は 中国・韓国言語文化専攻の授業はありません。				1
2	11:10 ~ 12:40					2
3	13:30 ~ 15:00					3
4	15:10 ~ 16:40	研究論文 指導演習1				4
		研究論文 指導演習2				
5	16:50 ~ 18:20	韓国語 文法研究	韓国近代 文学研究			
夜1	18:30 ~ 20:00			東アジア 思想研究		
			韓国語通訳 翻訳研究	韓国言語 文化研究		
夜2	20:10 ~ 21:40					

●…春学期 ●…秋学期

シラバス

担当教員、授業方法・内容(スケジュール)、評価の方法などの詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「シラバス」はこちら▶



教員紹介

マークの説明

歴 主な経歴 研 現在の主たる研究領域・テーマ

修 学位論文の指導ができる教員

修士論文の指導については、学生の研究内容により主指導担当以外の教員も論文指導を行います。詳細はオープンキャンパスなどでお問い合わせください。

金河守

修

KIM, Hasoo

教授・専攻主任 文学博士

歴 筑波大学大学院文芸・言語研究科博士課程単位取得満期退学。日本大学講師等を経て現・目白大学外国語学部韓国語学科教授

研 韓国語と日本語の対照言語学に関心があり、両言語の本質的な側面を明らかにしようとしている。また、日本における韓国語教育の分野にも目を向けて研究を行っている。

鏡屋一

修

ABUMIYA, Hajime

教授 国際学修士、博士(文学)

歴 東京外国語大学卒業、筑波大学大学院地域研究研究科修了、同歴史・人類学研究科単位取得満期退学。目白大学外国語学部長、副学長等を経て現職

研 東洋史学、特に近現代中国政治史を専攻している。政治学と歴史学とが接する領域の研究を行っている。議会政治、孔教会、文革と中国研究、現代における伝統文化の再創造など、社会倫理と政治統合の関係について調査している。

氷野善寛

HINO, Yoshihiro

教授 博士(文化交渉学)

歴 関西大学大学院文学研究科中国文学専攻博士後期課程単位取得満期退学。関西大学アジア文化研究センターPD等を経て現・目白大学中国語学科教授、中国語学科長

研 ①中国語教育及び教育史の研究②AIやICTを活用した中国語教育の研究③中国語④中華圏のサブカルチャーの研究

徐寅錫

SEO, Inseok

教授 博士(文学)

歴 新潟大学大学院現代社会文化研究科修了。蔚山大学国際交流院教授等を経て現・目白大学外国語学部韓国語学科教授

研 韓日文学の対比研究、韓国語教育に関する研究に関心を持っている。最近、韓国文学や韓国文化を活用した韓国語教育について研究を行っている。

小林寛

修

KOBAYASHI, Hiroshi

教授 文学博士

歴 筑波大学大学院博士課程哲学・思想研究科修了。目白大学人文学部、目白大学大学院国際交流研究科等を経て現職

研 西洋世界との接触による東アジアの伝統思想の変容を明らかにしよう。近年は近代の東アジアの儒教の変容と宗教文化との関係を究明している。

金敬鎬

修

KIM, Kyungho

教授 博士(文学)

歴 韓国中央大学校文科大学卒業、専修大学大学院文学研究科博士課程修了。NHK文化センター講師、韓国湖南大学校日本語学科副教授等を経て現職

研 最近、主に問題意識を持っている分野は「日本における韓国語のカタカナ表記の問題」、 「日本語と韓国語の翻訳の実態や問題」、歴史的な研究としては「外国人人名の漢字表記」、「中世の文献における韓国語の日本語表記」などである。

曹永宝

CHO, Youngbo

専任講師 博士(文学)

歴 漢陽大学国際教育院講師、目白大学外国語学部韓国語学科専任講師

研 韓国語と日本語の対照研究、韓国語文法の談話機能に関する研究、韓国語誤用に関する研究。

ハイブリッド型授業の実施

対面授業と遠隔授業*を併用したハイブリッド型で実施しています。社会人の方も仕事などのスケジュールを調整しながら学ぶことができます。

*原則オンデマンド授業は対応していません。また、通学することが前提となります。詳細はオープンキャンパスなどをご確認ください。

教員紹介 検索ページ

著書・論文歴、所属学会、学会発表など教員についての詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「教員紹介 検索ページ」はこちら▶





Nursing
Master's Program in Nursing

看護学研究科

看護学専攻(修士課程)

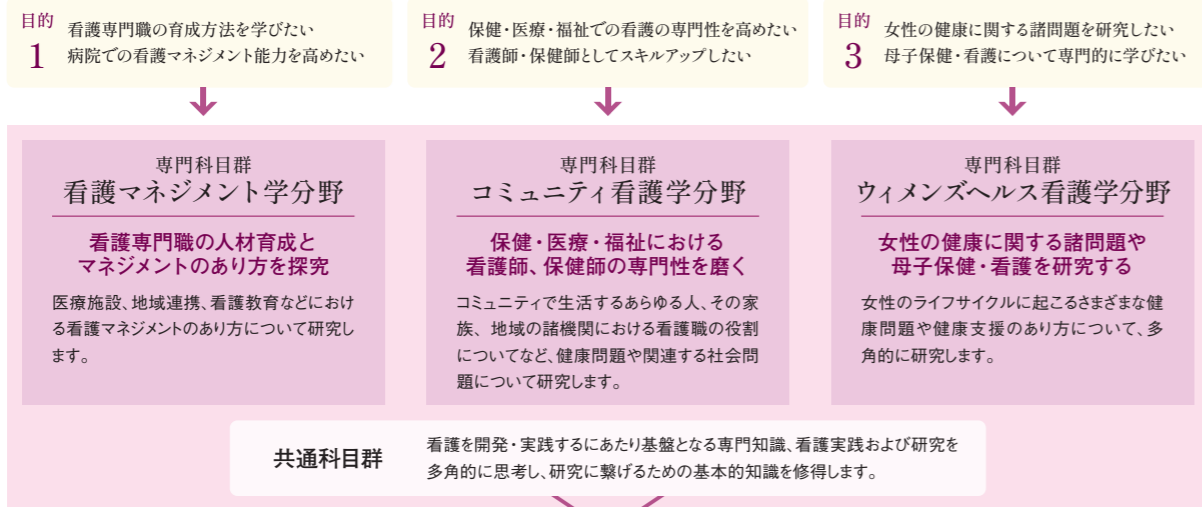
学位 修士(看護学)

看護学の3つの分野からキャリアに応じた学びを

本専攻は、看護師・保健師・助産師のいずれかの資格を有することが入学条件となっています。それぞれの学生が既に身につけてきた専門分野の知識や経験をより深く究め、それらを現場でより高度に実践していくことを目指しています。カリキュラムは、看護実践および看護学研究的共通基盤となる知識体系を修得するための共通科目群のほか、「看護マネジメント学」「コミュニティ看護学」「ウィメンズヘルス看護学」の3分野から1分野を選択して専門科目群を履修します。

POINT

3分野を柱とした看護学領域でそれぞれの専門性を高める



30単位以上の修得と修士論文作成へ(修了要件)

希望の分野について
詳細はオープンキャンパスや進学相談会などで直接担当教員にご相談ください(日程はP46を参照)。また、希望する分野や研究計画については、事前に看護学研究科にご相談ください。

[認定看護管理者受験資格]
看護マネジメント学分野における指定の科目の履修と修士論文の内容、実務経験により認定審査の受験が可能です。

▶ 看護科学の探究と創造を目指す

本専攻は看護学という幅広い学問領域の中でも、特に3つの分野を柱とした教育課程を編成しています。学生は、保健医療施設の看護サービス部門のマネジメント、キャリア形成、教育機能を研究する「看護マネジメント学」、コミュニティで生活する人々やその家族を支援するための研究を行う「コミュニティ看護学」、女性の健康支援について研究を行う「ウィメンズヘルス看護学」の3分野のいずれかを選択し、各自の経歴やキャリア目標に応じて、高度な知識・技術を身につけていきます。

ADMISSION POLICY | 求める学生像

- 1 研究をとおして健康課題の解決に取り組みたいと考えている人
- 2 キャリア形成を志向し、リーダーシップを発揮したいと考えている人
- 3 看護学の教育者・研究者を目指す人

社会人が学びやすい環境

本専攻は、新宿というアクセスの良い立地にキャンパスがあり、社会人学生が学びやすいように配慮した以下の制度を採用しています。

【仕事の繁閑に対応できるカリキュラム】

社会人向け大学院として有職者に配慮し、平日の全授業を夜間のみに限定するカリキュラムを採用。通常授業は、平日夜間と土曜日の受講だけで修了に必要な単位を修得できます。年間カリキュラムにおいてはセメスター制を導入しているので、有職者は自身の仕事の繁閑期に合わせた効率的な科目履修が可能です。

【じっくり学べる長期履修制度】

長期履修制度を利用すれば、通常2年の修業年限を超えて計画的に履修できるので、仕事と生活のペースに合わせて学ぶことができます。長期履修制度を利用される方は事前に看護学研究科までご相談ください。

【科目等履修生制度を活用できます】

本学に入学前の方でも、科目等履修生制度を利用して希望する科目の履修ができます。入学前に大学院での履修のイメージをつかめるだけでなく、学位の取得にも繋げることができます。また修得した単位は、本学の正規の単位として認定されます。詳しくは看護学研究科までご相談ください。

【幅広い領域で活躍する修了生・在学生】

病院看護管理者／看護系大学・専門学校等の教員／行政機関の医療政策担当者・公務員行政職／市町村・保健所・地域包括支援センターなど行政機関の管理者・職員／介護老人保健施設・保育園・精神デイケア施設など福祉施設の管理職・職員／保健師教育機関の教員／小学校・中学校・高等学校の看護師免許を持つ養護教諭／コミュニティヘルスケア諸団体(NPO・企業等)の管理者・実践者／助産師教育機関の教員／開業助産師／ウィメンズヘルスケア諸団体(NPO・企業等)の管理者・実践者

修士論文テーマ例

修士論文の主なテーマ例は以下の通りです。また一部の修士論文については、要旨を専攻サイトにて公開しています。

- 精神科スーパー救急病棟看護師と精神科訪問看護師の退院支援に対する認識の相違
- COVID-19流行下の周産期母子医療センターにおける助産師のワーク・エンゲージメントに関連する要因
— レジリエンスに着目して
- 急性期病棟看護師における認知症高齢者への看護実践に関連する要因
- 入学直後の看護大学生の感染症予防に関する知識と意識の現状と予防接種歴との関連について
- 乳児と母親のふれあいや遊びと母親の育児ストレスとの関連
- 精神看護学実習における指導者のストレスと教授行動の関連性
— 精神科臨床実習指導者と一般科臨床実習指導者の比較から—
- 災害看護に必要な知識・技術・態度に関する看護師の特性
— 自衛隊看護師に焦点を当てて—
- 育児中の母親の世代間交流への思い
- キャリア中期以降の女性看護職の更年期の実態と関連因子
- 精神疾患合併妊娠・産後期の助産ケアにおける困難感やジレンマと職場ストレスとの関連
— 周産期医療施設に勤務する助産師に焦点を当てて—
- 臨床経験1年目から5年目の看護師の看護実践能力の修得までに必要な時間に関する分析



看護学研究科に関するご相談

お問い合わせ窓口: nursing@mejiro.ac.jp

本学公式サイト
「専攻ページ」はこちら▶



授業科目

(年度によって変更する場合があります)

▶ カリキュラム (修了要件:30単位以上)

科目名	単位数		配当年次	備考
	必修	選択		
看護理論特論	2		1	[1] 共通科目の中から必修科目8単位のほか、2単位選択必修
看護倫理特論	2		1	
看護研究方法論	2		1	
生涯発達心理学		2	1	
保健統計学(基礎)	2		1	
保健統計学(応用)	2	2		
コンサルテーション理論 ◆		2	1・2	
地域社会学特論	2		1・2	
医療マネジメント特論 ◆	1		1・2	
国際援助論	1		1・2	
看護マネジメント学特論1 ◆	2		1・2	[2] 専攻分野の6単位、およびそれ以外の専門科目と共通科目のうち[1]で選択しなかった科目から6単位選択必修
看護マネジメント学特論2 ◆	2		1・2	
看護マネジメント学特論3 ◆	2		1・2	
看護マネジメント学演習 ◆	2		1・2	
コミュニティ看護学特論1	2		1・2	
コミュニティ看護学特論2	2		1・2	
コミュニティ看護学演習1	2		1・2	
コミュニティ看護学演習2	2		1・2	
ウイメンズヘルス看護学特論1	2		1・2	
ウイメンズヘルス看護学特論2	2		1・2	
ウイメンズヘルス看護学演習1	2		1・2	専攻分野の8単位選択必修
ウイメンズヘルス看護学演習2	2		1・2	
特別研究(看護マネジメント学分野)	8		1~2	
特別研究(コミュニティ看護学分野)	8		1~2	
特別研究(ウイメンズヘルス看護学分野)	8		1~2	

◆印は認定看護管理者の認定審査受験に必要な内容を含む科目。詳しくは看護学研究科までご相談ください。

▶ 履修スケジュール例 (看護マネジメント学分野1年次の場合)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	9:30 ~ 11:00	平日第1~5時限は看護学専攻の授業はありません。				1 コンサルテーション理論
2	11:10 ~ 12:40					2 生涯発達心理学
3	13:30 ~ 15:00					3 保健統計学(基礎)
4	15:10 ~ 16:40					4
5	16:50 ~ 18:20					5
夜1	18:30 ~ 20:00	特別研究	●医療マネジメント特論 ●看護研究方法論	看護マネジメント学演習	地域社会学特論	
夜2	20:10 ~ 21:40	特別研究	●医療マネジメント特論 ●看護研究方法論	看護マネジメント学特論3	看護理論特論	
				看護マネジメント学特論1		看護倫理特論

●…春学期 ●…秋学期
●2時限続きでセミクォーター(学期を前・後半に分けて、それぞれ連続して実施する授業)

教員紹介

マークの説明

歴 主な経歴 研 研究室紹介

修 学位論文の指導ができる教員
修士論文の指導については、学生の研究内容により主指導担当以外の教員も論文指導を行います。
詳細はオープンキャンパスなどでお問い合わせください。

糸井 志津乃

修

ITOI, Shizuno

教授・研究科長 修士(看護学)

歴 日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程修了・同博士課程単位取得退学。日本赤十字武蔵野短期大学講師、目白大学短期大学部子ども学科准教授を経て現職
研 ①小児がん ②保育所看護職 ③がんピアサポート活動関連 ④小児看護学教育

風間 真理

修

KAZAMA, Mari

教授・専攻主任 博士(医科学)

歴 山梨大学大学院医学工学総合教育部博士課程修了。目白大学教授、奈良県立医科大学教授を経て現職
研 統合失調症のある人、精神科看護師、学生のスマートフォン使用。精神科病棟看護師のコミュニケーションや学生を対象にしたスティグマやアクションの研究をしている。

小泉 仁子

修

KOIZUMI, Hitomi

教授 博士(看護学)

歴 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士後期課程修了。筑波大学医学医療系准教授(母性看護学・助産学)、筑波大学附属病院副院長・看護部長を経て現職
研 周産期を中心とした女性の健康増進や育児支援などを研究。ウイメンズヘルス全般、看護管理者としての経験を生かした看護管理(組織マネジメント、人材育成・キャリア支援、看護職のワークエンゲージメント、コンピテンシー)に関する研究を指導してきた。

辰島 美佐江

修

TATSUSHIMA, Misae

教授 博士(看護学)

歴 千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程修了。群馬県立県民健康科学大学教授等を経て現職
研 新人看護師教育に携わる看護職者、看護学実習や技術演習指導に携わる看護学教員に関する研究等、看護基礎教育および継続教育に関する研究指導が可能である。

福田 美和子

修

FUKUDA, Miwako

教授 博士(看護学)

歴 日本赤十字看護大学大学院博士後期課程修了。日本赤十字看護大学助手、東邦大学大学院講師・准教授、東京慈恵会医科大学大学院准教授等を経て現職
研 生命の危機状況からの回復を支える看護と、これを担う看護師の看護実践力向上に資する探究。

藤井 仁

修

FUJII, Hitoshi

教授 博士(医学)、修士(経済学)

歴 横浜市立大学医学研究科博士課程修了。国立保健医療科学院主任研究官を経て現職
研 アンケート調査、健診・レセプト分析など、量的研究全般の指導経験あり。

大宮 裕子

修

OMIYA, Yuko

教授 博士(看護学)

歴 日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士課程修了。目白大学看護学部助教・専任講師、西武文理大学看護学部准教授を経て現職
研 高齢者の「動く」支援、腹臥位などのポジショニングや看護技術、看護師のキャリアや多職種連携協働(IPW)に関する研究。

大園 康文

OOSONO, Yasufumi

教授 博士(医学)、修士(保健学)

歴 東京大学大学院医学系研究科博士前期課程修了、順天堂大学大学院医学研究科博士課程修了。戸田中央総合病院看護部、順天堂大学医療看護学部在宅看護学助教、防衛医科大学校医学部地域看護学准教授等を経て現職
研 ①終末期在宅医療 ②緩和ケア ③家族看護 ④臨床死生

菊池 チトセ

KIKUCHI, Chitose

教授 修士(栄養学)

歴 女子栄養大学大学院栄養学研究科修士課程修了。埼玉医科大学短期大学専攻科講師・助教、教務主任、埼玉医科大学看護学科学准教授を経て現職
研 新人保健師の現任教育、地域保健活動、地域住民の生活習慣と健康に関すること等を研究してきた。

野澤 桂子

NOZAWA, Keiko

教授 博士(心理学)

歴 立教大学法学部法学科卒業。目白大学大学院心理学研究科後期博士課程修了。山野美容芸術短期大学美容福祉学科教授、国立がん研究センター中央病院アピアランス支援センター長を経て現職。副学長
研 先天疾患や事故、疾病に起因する外見変化に悩む患者の支援プログラムを研究。がん治療におけるアピアランスケアガイドラインの作成。

末永 真由美

SUENAGA, Mayumi

准教授 博士(看護学)

歴 日本赤十字看護大学大学院修士課程修了、国際医療福祉大学大学院博士課程修了。順天堂大学保健看護学部講師、関東学院大学看護学部講師を経て現職
研 継続教育、看護基礎教育に関する研究。看護職者の学習支援、キャリアサポートに関する研究。

友竹 千恵

TOMOTAKE, Chie

准教授 修士(看護学)

歴 神戸市看護大学大学院看護学研究科修士課程修了。自治医科大学看護学部助手、日本看護協会看護研修学校教育研究部継続教育係、日本赤十字看護大学特任助教等を経て現職
研 セルフマネジメントを必要とする人への看護実践、看護倫理とマネジメント。

ハイブリッド型授業の実施

対面授業と遠隔授業[※]を併用したハイブリッド型で実施しています。社会人の方も仕事などのスケジュールを調整しながら学ぶことができます。

※原則オンデマンド授業は対応していません。また、通学することが前提となります。詳細はオープンキャンパスなどをご確認ください。

シラバス

担当教員、授業方法・内容(スケジュール)、評価の方法などの詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「シラバス」はこちら▶



教員紹介 検索ページ

著書・論文歴、所属学会、学会発表など教員についての詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「教員紹介 検索ページ」はこちら▶





Rehabilitation
Master's Program in Rehabilitation

リハビリテーション学研究科

リハビリテーション学専攻(修士課程)

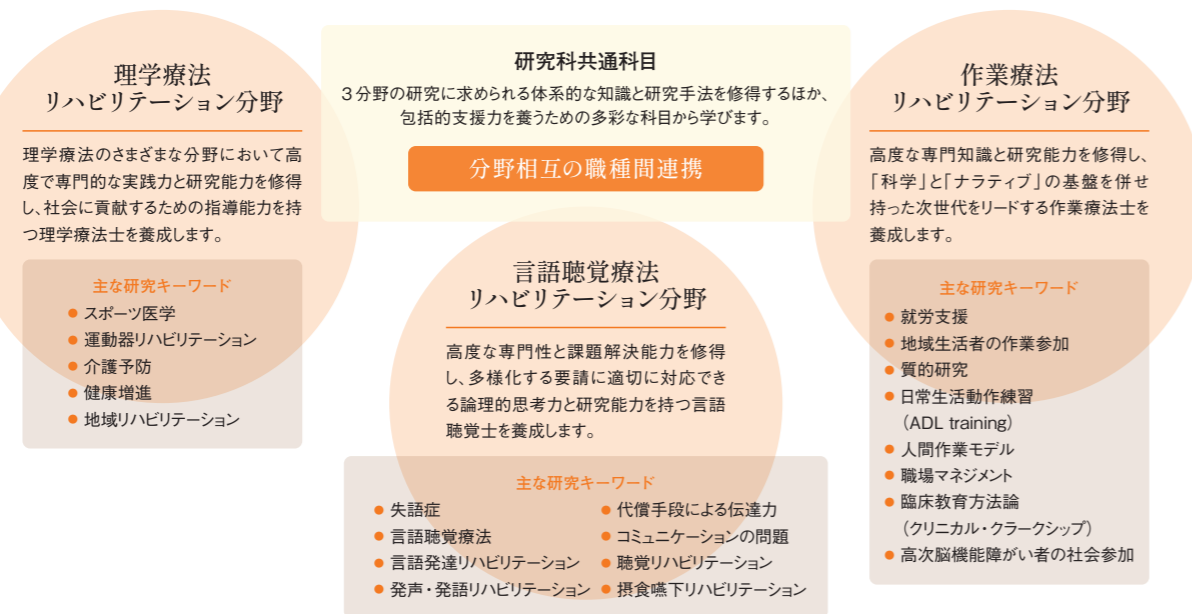
学位 修士(リハビリテーション学)

総合的な支援力を備えたリハビリテーション専門家を養成

本専攻は、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のいずれかの資格を有することが入学条件となっています。それぞれが身につけてきた専門分野の知識や経験をより深く究め、それらを現場で実践していくことを目指します。リハビリテーション専門職に共通する基本的および発展的な理論と研究遂行に必要な知識に加え、医学、心理学、工学、教育学、社会制度に関する幅広い領域を学びます。さらに各専門分野での臨床実践能力、研究能力を高め、1年次より段階を踏みながら修士論文作成に取り組んでいきます。

POINT

リハビリテーション3分野の包括的支援力と専門性を修得



希望の研究領域について

希望する研究領域や研究計画については、事前にリハビリテーション学研究科にご相談ください。
お問い合わせ窓口:rehabilitation@mejiro.ac.jp

▶ リハビリテーションの発展をリードする

本専攻は、理学療法、作業療法、言語聴覚療法の3分野において、包括的な支援力を持つリハビリテーションの高度専門職業人を養成することを目指しています。そのため、各分野で専門性の高い研究を展開しつつ、多彩な分野の理論や制度に関わる共通科目を設けて、分野相互の職種間連携を視野に入れた教育課程を編成しています。各分野において臨床実践的能力や研究能力を高め、より広い視野に立ち、リハビリテーションの今後の発展を担う人材としての活躍が期待されます。

ADMISSION POLICY | 求める学生像

- 1 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の有資格者を対象として、各専門職者の臨床経験に基づく実践的研究を遂行しようとする人
- 2 リハビリテーションの各分野の様々な課題に積極的に取り組む意欲を持ち、高度の専門的知識と研究推進力を身につけることを目指す人
- 3 各分野の養成教育や研究職へのキャリア形成を目指す人

COLUMN

論文指導

論文指導担当教員の下、それぞれの研究テーマを深化させ、修士論文を作成します。

矢野 秀典 教授

理学療法

高齢者の健康増進や介護予防を専門としています。院生が臨床現場において疑問に感じたり、興味を持ったことなどをテーマとして修士論文を書き上げることができるように指導していきたいと考えています。

會田 玉美 教授

作業療法

職場マネジメントと高次脳機能障がい者の地域支援が専門ですが、長年の臨床経験を基に幅広い分野の修士論文を指導しています。ゼミは在学生だけでなく修了生も毎回参加し、アットホームかつ熱く研究を語り合っています。

春原 則子 教授

言語聴覚療法

失語症のセラピーや社会参加、学習障害に関するテーマなど、各人が言語聴覚療法の臨床現場で関心を持っている事柄を修士論文のテーマとして取り上げます。さまざまな切り口で掘り下げ、臨床研究論文を指導しています。

社会人が学びやすい環境

本専攻は、臨床の現場で活躍する有職者が修学しやすいように、すべての授業を基本的に平日夜間のみを設定。対面・遠隔を併用したハイブリッド型授業の実施により、広範囲の地域から受講できるため、多彩な経歴や専門分野を持つ人材が入学しています。日々の学修や研究だけでなく、共に学ぶ学生たちとの交流により知見の拡大や将来にわたる幅広い人脈形成に繋がるのも大きなメリットといえます。また、長期履修制度の利用も可能です。

【さまざまなキャリアの有職者が進学】

地域包括支援センター(理学療法士)／介護老人保健施設(作業療法士)／総合病院リハビリテーション部門(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)／訪問看護ステーション(作業療法士)／精神科病院(作業療法士)／リハビリテーション専門職養成校教員(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)

理学療法士・作業療法士養成教員を志望される方

学校・養成施設における専任教員としての基準を満たすことが可能
2022年4月1日から施行された理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則において、理学療法士・作業療法士に係る学校または養成施設における理学療法士・作業療法士である専任教員の基準として定められている。教育学に関する科目を4単位以上修得することが可能です。対象の科目は、「リハビリテーション教育方法特論」と「教育原理」です。

修士論文テーマ例

修士論文の主なテーマ例は以下の通りです。また一部の修士論文については、要旨を専攻サイトにて公開しています。

- 物忘れ外来で認知症と診断された在宅高齢者に対する家族指導の効果
- 介護老人保健施設でボランティア活動に参加する後期高齢者の活動継続プロセス
- 退職を経験した男性脳卒中者が目的や価値を持つ生活行為を再構築していくプロセス
- 口形の観察が失語症者の喚語に与える影響
- 失語症を対象とする音韻機能検査法の開発
- 吃音児に対する流暢性形成適用の検討 一親の発話モデルの速度を中心に
- 地域在住高齢者の作業に抱く価値が生きがいと与える影響
- 人工膝関節術後患者の stiff knee gait に関する基礎的研究 一膝関節周囲筋の筋活動と膝関節屈曲角度に着目して
- 失語症のある方の会話にみられる特徴 一会話分析の手法を用いて
- 産業精神保健における精神科作業療法士の役割の検討

TA制度(作業療法リハビリテーション学分野入学対象)

希望者はティーチングアシスタント(TA)として採用され、修学と同時に教育経験を積むことができます。修了後、教員としてのキャリアをスタートさせている修了生もいます。
お問い合わせ窓口:リハビリテーション学研究科 rehabilitation@mejiro.ac.jp

本学公式サイト
「専攻ページ」はこちら▶



授業科目

▶ カリキュラム (修了要件:30単位以上)

	科目名	単位数		配当 年次	備考
		必修	選択		
基幹科目	リハビリテーション理論特論	2		1・2	
	リハビリテーション研究法特論	2		1・2	
	リハビリテーション包括的支援特論	2		1・2	
	リハビリテーション統計学	2		1・2	
	リハビリテーション医療管理特論	2		1・2	
共通科目	リハビリテーション医学特論		2	1・2	
	リハビリテーション心理学特論		1	1・2	
	リハビリテーション実践モデル特論		1	1・2	
	リハビリテーション工学特論		1	1・2	
	リハビリテーション教育方法特論		2	1・2	6単位以上 選択必修
	特別支援教育特論		1	1・2	
	教育原理		2	1・2	
	障害者福祉特論		2	1・2	
	精神保健福祉特論		2	1・2	
	理学療法リハビリテーション特論I		2	1・2	
展開科目	理学療法リハビリテーション特論II		2	1・2	
	理学療法リハビリテーション演習I		2	1・2	
	理学療法リハビリテーション演習II		2	1・2	
	作業療法リハビリテーション特論I		2	1・2	
	作業療法リハビリテーション特論II		2	1・2	専攻分野の 8単位必修
	作業療法リハビリテーション演習I		2	1・2	
	作業療法リハビリテーション演習II		2	1・2	
	言語聴覚療法リハビリテーション特論I		2	1・2	
	言語聴覚療法リハビリテーション特論II		2	1・2	
	言語聴覚療法リハビリテーション演習I		2	1・2	
専門科目	言語聴覚療法リハビリテーション演習II		2	1・2	
	特別研究(理学療法リハビリテーション分野)	6		1~2	6単位選択 必修
	特別研究(作業療法リハビリテーション分野)	6		1~2	
	特別研究(言語聴覚療法リハビリテーション分野)	6		1~2	

ハイブリッド型授業の実施

対面授業と遠隔授業[※]を併用したハイブリッド型で実施しています。社会人の方も仕事などのスケジュールを調整しながら学ぶことができます。

※原則オンデマンド授業は対応していません。また、通学することが前提となります。詳細はオープンキャンパスなどでご確認ください。

シラバス

担当教員、授業方法・内容(スケジュール)、評価の方法などの詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「シラバス」はこちら▶



(年度によって変更する場合があります)

▶ 履修スケジュール例 (理学療法リハビリテーション分野1年次の場合)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	9:30 ~ 11:00					1
2	11:10 ~ 12:40					2
3	13:30 ~ 15:00	平日第1~5時限は リハビリテーション学専攻の必修授業はありません。				3
4	15:10 ~ 16:40					4
5	16:50 ~ 18:20					
夜	18:30 ~ 20:00	リハビリテーション 研究法特論	リハビリテーション 工学特論	リハビリテーション 包括的支援特論	リハビリテーション 医学特論	理学療法 リハビリテーション 特論I
1	20:10 ~ 21:40	リハビリテーション 研究法特論	リハビリテーション 教育方法特論	リハビリテーション 理論特論	教育原理	理学療法 リハビリテーション 特論II
夜	20:10 ~ 21:40	リハビリテーション 研究法特論	リハビリテーション 教育方法特論	リハビリテーション 理論特論	教育原理	理学療法 リハビリテーション 演習I
2	21:40		特別支援 教育特論	リハビリテーション 統計学		理学療法 リハビリテーション 演習II

…春学期 …秋学期

▶ 履修スケジュール例 (作業療法リハビリテーション分野1年次の場合)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	9:30 ~ 11:00					1
2	11:10 ~ 12:40					2
3	13:30 ~ 15:00	平日第1~5時限は リハビリテーション学専攻の必修授業はありません。				3
4	15:10 ~ 16:40					4
5	16:50 ~ 18:20					
夜	18:30 ~ 20:00	リハビリテーション 研究法特論	リハビリテーション 包括的支援特論	リハビリテーション 理論特論		作業療法 リハビリテーション 特論I
1	20:10 ~ 21:40	リハビリテーション 医学特論	リハビリテーション 工学特論	リハビリテーション 心理学特論		作業療法 リハビリテーション 特論II
夜	20:10 ~ 21:40	リハビリテーション 医学特論	特別支援 教育特論	リハビリテーション 統計学		作業療法 リハビリテーション 演習I
2	21:40					作業療法 リハビリテーション 演習II

…春学期 …秋学期

▶ 履修スケジュール例 (言語聴覚療法リハビリテーション分野1年次の場合)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	9:30 ~ 11:00					1
2	11:10 ~ 12:40					2
3	13:30 ~ 15:00	平日第1~5時限は リハビリテーション学専攻の必修授業はありません。				3
4	15:10 ~ 16:40					4
5	16:50 ~ 18:20					
夜	18:30 ~ 20:00	リハビリテーション 統計学		リハビリテーション 包括的支援特論	リハビリテーション 医学特論	言語聴覚療法 リハビリテーション 特論I
1	20:10 ~ 21:40	リハビリテーション 統計学	リハビリテーション 教育方法特論	リハビリテーション 理論特論		言語聴覚療法 リハビリテーション 特論II
夜	20:10 ~ 21:40	リハビリテーション 統計学	リハビリテーション 包括的支援特論	リハビリテーション 医学特論		言語聴覚療法 リハビリテーション 特論I
2	21:40	リハビリテーション 教育方法特論	リハビリテーション 理論特論			言語聴覚療法 リハビリテーション 特論II

…春学期 …秋学期

教員紹介

マークの説明

- 主な経歴
- 現在の主たる研究領域・テーマ
- ① 理学療法リハビリテーション分野
- ② 作業療法リハビリテーション分野
- ③ 言語聴覚療法リハビリテーション分野
- 学位論文の指導ができる教員
- 修士論文の指導については、学生の研究内容により指導担当以外の教員も論文指導を行います。詳細はオープンキャンパスなどでお問い合わせください。

春原 則子

HARUHARA, Noriko

教授・研究科長 博士(行動科学)
歴 筑波大学大学院教育研究科カウンセリング専攻リハビリテーションコース修了。済生会中央病院リハビリテーション科副主任等を経て現職
研 失語症の症状・セラピー、発達性 dyslexia の発現機序・指導法の開発、SLI など。

万行 里佳

MANGYO, Rika

教授 博士(人間科学)
歴 早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。東邦大学医学部付属大橋病院整形外科等を経て現職
研 介護予防に関するヘルスリテラシーや代謝疾患の発症予防など行動変容に関する介入研究。

辻 和弘

TSUJI, Kazuhiro

准教授 修士(保健医療学)
歴 急性期病院での臨床経験を経て現職
研 呼吸リハビリテーションに関する研究。

時田 みどり

TOKITA, Midori

教授 博士(学術)
歴 お茶の水女子大学文教育学部卒業、お茶の水女子大学大学院人間文化研究科修了。お茶の水女子大学研究員
研 健康行動における動機づけと行動変容の心理学的検討・リスク認知と意思決定の情報処理過程・知覚・認知・運動の相互作用・知覚運動学習における教示の効果。

館岡 周平

TATEOKA, Shuhei

准教授 博士(保健医療学)
歴 国際医療福祉大学大学院医療福祉学専攻博士課程修了。札幌秀友会病院、河北医療財団河北リハビリテーション病院主任、植草学園大学専任講師等を経て現職
研 脳血管障害を経験後の就労に関する研究。遠隔リハビリテーションに関する研究。

今富 摂子

IMATOMI, Setsuko

准教授 博士(医学)
歴 上智大学大学院外国語研究科言語学専攻博士前期課程修了。昭和大学医学部形成外科、埼玉県立小児医療センター等を経て現職
研 発声発語障害の症状、評価、訓練に関する音声学・音韻論的研究。

後藤 多可志

GOTO, Takashi

准教授・専攻主任 博士(心身障害学)
歴 筑波大学大学院人間総合科学研究科修了。厚生労働省感覚器障害(聴覚)戦略研究流動員、筑波大学大学院人間総合科学研究科客員研究員等を経て現職
研 発達性ディスレクシアの発現機序や指導・支援に関する研究。言語発達障害児/者の指導・支援に関する研究。

矢野 秀典

YANO, Hidenori

教授 博士(障害科学)
歴 東北大学大学院医学系研究科病態運動学専攻博士課程修了。横浜総合病院リハビリテーション科長、仙台医療技術専門学校専任教員等を経て現職、目白大学保健医療学部長
研 高齢者全般を対象とした健康増進ならびに介護予防に関する研究。学生を対象とした健康教育に関する研究。

兵頭 甲子太郎

HYODO, Kashihiro

准教授 博士(医学)
歴 東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科博士課程修了。春日部厚生病院リハビリテーション科を経て現職
研 地域理学療法、日常生活活動学。主な研究テーマとして、地域高齢者の活動量と臥床時間との関係、日常生活動作における下肢の動作解析に取り組んでいる。

花房 謙一

HANAFUSA, Kenichi

教授 博士(保健学)
歴 神戸大学大学院保健学研究科博士後期課程修了。奈良県心身障害者リハビリテーションセンター、大阪大学医学部附属病院、地方独立行政法人市立吹田市市民病院リハビリテーション科参事を経て現職
研 基礎作業学および疾病後の過ごし方(時間の使い方)と疾病の回復に関する研究をライフワークとしている。

野村 健太

NOMURA, Kenta

准教授 博士(作業療法学)
歴 目白大学保健医療学部卒業、目白大学大学院修士課程修了。東京都立大学大学院博士後期課程単位取得後退学。慈誠会徳丸リハビリテーション病院等勤務、目白大学助教を経て現職
研 地域在住男性高齢者の社会的孤立を予防するためのプログラム開発、クニニカル・クラークシップ(CCS)に基づく作業療法臨床教育に関わる研究。

橋本 幸成

HASHIMOTO, Kosei

准教授 博士(行動科学)
歴 医療法人室原会菊南病院、JCHO 熊本総合病院での勤務を経て現職。社会人大学院生として熊本県立大学大学院にて修士号、筑波大学大学院にて博士号を取得
研 失語症および高次脳機能障害を有する脳損傷者の症状分析、評価ならびに訓練法に関する研究を行っている。

工藤 裕仁

KUDO, Hiroki

教授 博士(スポーツ医学)、
 修士(体育学)(スポーツ医学)
歴 筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科スポーツ医学専攻修了。大野中央病院、小山整形外科内科、産業技術総合研究所テクニカルスタッフ等を経て現職
研 MRI・MRSを用いた関節軟骨の組成評価と機能評価。弱気圧酸素環境および物理刺激が酸化ストレス・抗酸化力に及ぼす影響について。

小山内 正博

OSANAI, Masahiro

教授 博士(保健医療学)
歴 国際医療福祉大学大学院博士課程修了。植草学園大学教授を経て現職
研 急性期理学療法や呼吸理学療法に関心をもち大学病院や総合病院で臨床を行ってきた。研究としては慢性閉塞性肺疾患患者の姿勢の影響についての研究、近年は、呼吸筋トレーニング効果、姿勢と肺気量位の関係、腹圧・換気パターンと肺メカニクスの関係に関心を持っている。

會田 玉美

AIDA, Tamami

教授 博士(保健科学)
歴 筑波大学大学院修士課程教育研究科カウンセリング専攻リハビリテーションコース修了。東京都立府中病院、同駒込病院、同大塚病院、同豊島病院を経て現職
研 高次脳機能障がい者の社会参加、職場マネジメント。

佐藤 彰純

SATO, Akihito

教授 博士(学術)
歴 青森県内の病院・施設で作業療法士として勤務後、アール医療福祉専門学校、健康科学大学を経て現職
研 ①摂食嚥下に関する運動学的研究、②ポジショニングに関する研究、③小学校へのOT介入に関する実践的研究

森 つり

MORI, Tsukuri

教授 博士(教育学)
歴 東北大学大学院教育学研究科総合教育科学専攻博士後期課程修了。九州保健福祉大学助手、仙台白百合女子大学、東北福祉大学講師、宮城県北部児童相談所等を経て現職
研 聴覚障害児者の生涯発達支援に関する研究。発達障害を併じた聴覚障害児の言語・コミュニケーション発達支援に関する研究。

峯村 恒平

MINEMURA, Kohei

准教授 博士(教育学)
歴 筑波大学大学院人間総合科学学術院修了。目白大学高等教育研究所助教等を経て現職。現、目白大学人間学部児童教育学科准教授。
研 摂食嚥下機能、発声発語機能に関する臨床研究。地域在住高齢者、サルコペニアに関する研究。

佐藤 広之

SATO, Hiroyuki

教授 博士(医学)、修士(人間科学)
歴 東京大学医学部医学科卒業、東京大学大学院医学系研究科外科学専攻リハビリテーション医学修了。国立病院機構東京病院リハビリテーション科等を経て現職
研 障がい者スポーツ、高齢者の健康・体力増進、スポーツ・パフォーマンス向上とリスキマネジメント。

安心院 朗子

AJIMI, Akiho

准教授 博士(学術)
歴 筑波大学人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻後期博士課程修了。創造学メディカルプラザ平和台病院等を経て現職
研 高齢者・障がい者の交通バリアフリーに関する研究。子どもに関する研究(障がい児における保育活動、子どもの身体運動など)。

小林 幸治

KOBAYASHI, Koji

教授 博士(作業療法学)
歴 国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院卒業、首都大学東京大学院人間健康科学研究科修了。横浜市立脳血管医療センター、ふれあい町田ホスピタルを経て現職
研 患者の作業や生活史の情報活用による焦点を当てたチーム・アプローチ、作業療法参加型臨床教育、作業遂行6因子分析ツールの開発、他。

仲本 なつ恵

NAKAMOTO, Natsue

教授
歴 筑波大学医学専門学群卒業。同大学小児科、国立小児病院(現国立成育医療研究センター)神経科、帝京大学医学部小児科、東京都児童相談センター等を経て現職
研 発達障害の理解と支援に関する研究。そのほか、小児神経疾患に関する臨床研究。

角田 玲子

TSUNODA, Reiko

教授 博士(医学)
歴 東京医科歯科大学医学部卒業。埼玉県立がんセンター、関東通信病院等の耳鼻咽喉科勤務を経て現職
研 めまい平衡障害の臨床研究。内耳性、小脳障害などの中枢性めまいのほか、前庭性片頭痛、持続性知覚性姿勢誘発めまいなどの診断・治療を研究。内服治療だけでなく理学療法や心理療法を取り入れたチーム医療を行っている。

坂口 紅美子

SAKAGUCHI, Kumiko

専任講師 博士(保健科学)
歴 鹿児島赤十字病院、目白大学保健医療学部言語聴覚学助教授、日本医科大学付属病院リハビリテーション科主任を経て現職。
研 摂食嚥下機能、発声発語機能に関する臨床研究。地域在住高齢者、サルコペニアに関する研究。

教員紹介 検索ページ

著書・論文歴、所属学会、学会発表など教員についての詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「教員紹介 検索ページ」はこちら▶



学納金 (2026年度) 学納金は年度ごとに改定される場合があります。

(単位:円)

納期	項目	国際交流研究科		心理学研究科							経営学研究科		生涯福祉研究科		言語文化研究科				看護学研究科		リハビリテーション学研究科	
		国際交流専攻		現代心理学専攻		臨床心理学専攻		心理学専攻			経営学専攻		生涯福祉専攻		日本語・日本語教育専攻		中国・韓国言語文化専攻		看護学専攻		リハビリテーション学専攻	
		修士課程		修士課程		修士課程		博士後期課程			修士課程		修士課程		修士課程		修士課程		修士課程		修士課程	
		1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次
入学手続 春学期	入学金	160,000	—	160,000	—	160,000	—	160,000	—	—	160,000	—	160,000	—	160,000	—	160,000	—	160,000	—	160,000	—
	授業料	300,000	300,000	318,000	318,000	390,000	390,000	318,000	318,000	318,000	312,000	312,000	312,000	312,000	300,000	300,000	300,000	300,000	390,000	390,000	312,000	312,000
	施設設備費	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
	学生教育研究 災害傷害保険	1,750	—	1,750	—	—	—	2,600	—	—	1,750	—	1,750	—	1,750	—	1,750	—	1,750	—	1,750	—
	総合補償制度	—	—	—	—	4,500	4,500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	611,750	450,000	629,750	468,000	704,500	544,500	630,600	468,000	468,000	623,750	462,000	623,750	462,000	611,750	450,000	611,750	450,000	701,750	540,000	623,750	462,000
秋学期	授業料	300,000	300,000	318,000	318,000	390,000	390,000	318,000	318,000	318,000	312,000	312,000	312,000	312,000	300,000	300,000	300,000	300,000	390,000	390,000	312,000	312,000
	合計	300,000	300,000	318,000	318,000	390,000	390,000	318,000	318,000	318,000	312,000	312,000	312,000	312,000	300,000	300,000	300,000	300,000	390,000	390,000	312,000	312,000
年額		911,750	750,000	947,750	786,000	1,094,500	934,500	948,600	786,000	786,000	935,750	774,000	935,750	774,000	911,750	750,000	911,750	750,000	1,091,750	930,000	935,750	774,000

入試結果 (2026年度)

種別	国際交流研究科		心理学研究科						経営学研究科	
	国際交流専攻		現代心理学専攻		臨床心理学専攻		心理学専攻(博士)		経営学専攻	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
一般I期	4	4	—	—	85	11	—	—	13	5
一般II期	10	5	—	—	—	—	—	—	15	7
一般III期	8	6	4	2	36	5	2	1	13	2
社会人I期	0	0	—	—	—	—	—	—	0	0
社会人II期	0	0	—	—	—	—	—	—	0	0
社会人III期	0	0	2	0	—	—	—	—	3	0
AOI期	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
AOII期	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
AOIII期	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
現代心理学AO	—	—	3	3	—	—	—	—	—	—
合計	22	15	9	5	121	16	2	1	44	14

種別	生涯福祉研究科		言語文化研究科				看護学研究科		リハビリテーション学研究科	
	生涯福祉専攻		日本語・日本語教育専攻		中国・韓国言語文化専攻		看護学専攻		リハビリテーション学専攻	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
一般I期	6	1	2	1	0	0	0	0	0	0
一般II期	6	1	6	5	1	0	0	0	0	0
一般III期	6	1	1	0	3	1	0	0	0	0
社会人I期	0	0	0	0	3	3	1	1	1	1
社会人II期	0	0	1	1	0	0	0	0	3	3
社会人III期	2	1	2	2	0	0	1	1	7	7
AOI期	0	0	—	—	0	0	—	—	—	—
AOII期	0	0	—	—	0	0	—	—	—	—
AOIII期	0	0	—	—	0	0	—	—	—	—
現代心理学AO	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	20	4	12	9	7	4	2	2	11	11

入試日程 (2027年度)

目白大学大学院では、一般入試・社会人特別入試・AO入試を実施しています。
詳細につきましては、「2027年度 入学試験要項」(本学公式サイトにて6月下旬公開予定)をご覧ください。

試験区分	入学資格審査 提出期間(必着)	出願期間 (必着)	試験日	合格発表日	入学手続期限
臨床心理学専攻 第I期	2026年 7月21日(火)~7月24日(金)	2026年 8月18日(火)~8月21日(金)	2026年 9月1日(火)	2026年 9月7日(月)	2026年 9月14日(月)
第I期 (臨床心理学専攻以外)	2026年 8月24日(月)~8月27日(木)	2026年 9月15日(火)~9月18日(金)	2026年 10月4日(日)	2026年 10月8日(木)	2026年 10月15日(木)
第II期	2026年 10月19日(月)~10月22日(木)	2026年 11月16日(月)~11月19日(木)	2026年 11月29日(日)	2026年 12月3日(木)	2026年 12月10日(木)
第III期	2027年 1月6日(水)~1月8日(金)	2027年 2月1日(月)~2月4日(木)	2027年 2月20日(土)	2027年 2月26日(金)	2027年 3月4日(木)

試験区分	入学資格審査 提出期間(必着)	出願期間(必着)	一次選考日	二次選考のご案内 発送	二次以降の選考日	合格発表日	入学手続期限
現代心理学専攻 AO入試	① 2026年 8月24日(月)~8月27日(木)	2026年 9月14日(月)~9月17日(木)	2026年 9月30日(水)	一次選考日から 2週間以内に 発送	2026年 11月4日(水)	最終選考日から 2週間以内に 発送	合格発表日から 約1週間後
	② 2026年 9月18日(金)~9月25日(金)	2026年 10月13日(火)~10月16日(金)	2026年 11月4日(水)		2026年 12月2日(水)		
	③ 2026年 10月19日(月)~10月22日(木)	2026年 11月9日(月)~11月12日(木)	2026年 12月2日(水)		2027年 1月6日(水)		

※臨床心理学専攻は、午前に一次選考、午後二次選考を行います。

以下の専攻は実施する入試日程が他の専攻と異なりますのでご注意ください。
心理学研究科 現代心理学専攻:第III期とAO入試①~③/臨床心理学専攻:第I期・第III期のみ/心理学専攻(博士後期課程):第III期のみ

本学公式サイト「入試情報」はこちら▶





Open Campus and Guidance

オープンキャンパス & 進学相談会 2026

目白大学大学院では、本学への進学を検討している受験生の方の相談にお応えするイベントを開催します（事前予約制）。
各専攻の学びや研究、入試に関することなど、この機会にぜひご相談ください。

》オープンキャンパス

研究科	専攻	実施キャンパス	6/7 (日)	7/19 (日)	8/7 (金)	8/8 (土)	8/30 (日)
国際交流	国際交流	新宿			●	●	●
心理学	現代心理学				●	●	●
	臨床心理学		●	●			
	心理学(博士後期)				●		●
経営学	経営学			●	●	●	●
生涯福祉	生涯福祉			●	●	●	●
言語文化	日本語・日本語教育		●	●	●	●	●
	中国・韓国言語文化	●	●	●	●	●	
看護学	看護学		●		●	●	
リハビリテーション学	リハビリテーション学	さいたま岩槻*				●*	

*さいたま岩槻キャンパス 所在地:埼玉県さいたま市岩槻区浮谷320

》進学相談会

教員と個別に相談できる進学相談会を実施予定です。日程などの詳細は、本学公式サイトをご確認ください。

オンラインで開催する場合があります。各イベントについては、本学公式サイトで最新情報をご確認ください。

本学公式サイト「オープンキャンパス・進学相談会」はこちら▶



WEB&SNS

目白大学大学院
公式サイト

<https://www.mejiro.ac.jp/graduate/>

CHECK!



Xで情報を
発信しています



@mejiro_gdnyushi



受験生に向けた情報が満載!

研究科・専攻



入試情報



働きながら
学びたい方へ



ACCESS



新宿キャンパス

- 西武新宿線「中井」駅より 徒歩8分
- 都営大江戸線「中井」駅より 徒歩8分
- 都営大江戸線「落合南長崎」駅より 徒歩10分
- 東京メトロ東西線「落合」駅より 徒歩12分



目白大学大学院

目白大学入学センター

〒161-8539 東京都新宿区中落合4-31-1

TEL 03-3952-5115

Mail colkoho@mejiro.ac.jp

www.mejiro.ac.jp/graduate

